

資料 2-1-1 大学案内パンフレット 令和 6（2024）年度版



星槎なら学びやすい 星槎だから続けられる

人を認める
人を排除しない
仲間を作る

《星槎の3つの約束》
星槎グループすべての学校の教職員児童生徒が守る約束です。日々の生活や仕事の中で、この約束を守ろうと心がけることが共生社会の創造へ繋がっていきます。

人を認める

誰かや自分自身を責めるより、まず受け入れて認めること。決めつけず観察すること。ゆっくり話を聞くこと。自分とは違うことを認めること。なかなか難しい。

人を排除しない

排除ということばは強いけれど、そう感じてしまう経験をした人は多いかもしれない。いらないかのように扱われたら、誰だって傷ついてしまう。取り除く以外の方法がないのか、その工夫を知識や経験から生み出そう。

仲間を作る

家族や恋人、友達以外にも人間関係は様々あって、仲良くいつも一緒に行動する必要はないけれど、共に力を合わせて取り組める仲間が増えると、できることはどんどん増える。



創設者 宮澤 保夫

宮澤が創った横浜市内の小さな私塾に端を発する星槎グループは、4つの学校法人をはじめとして、3つの約束のもと、学び合いの場をつくり、大きく成長し続けています。

INDEX

- 01 3つの約束/創設者 宮澤保夫
- 02 INDEX
- 03 学長あいさつ/星槎大学の特長
- 《共生科学部》
- 04 出願から入学までの流れ
- 05 入学から学部開始まで
- 07 入学から学部開始まで
- 09 学部開始から単位修得まで
- 11 教員免許状

- 13 取得できる資格
- 15 専攻紹介
- 16 共生科学専攻
- 17 初等教育専攻
- 18 福祉専攻
- 19 スポーツ身体表現専攻
- 20 グローバルコミュニケーション専攻
- 21 在学生/卒業生インタビュー
- 25 学生データ

《大学院》

- 27 星槎大学大学院とは
- 28 修士生の活躍/修士生のキャリアパス
- 29 教育学研究科 修士課程
- 30 教育実践研究科 専門職学位課程
- 31 教育学研究科 博士後期課程
- 32 よくある質問
- 33 通信自立支援コース(付帯事業)
- 34 星槎グループ

学長あいさつ

星槎大学は、教育事業や国内外支援事業、教育周辺事業等を行う星槎グループの一員として2004年に開校しました。

多様な子ども達を見守り、教育環境をつくり、共生社会を支える大人の学びの場として、通信制のみの学部からスタートした大学は、現在は修士課程や専門職学位課程、大学院修士後期課程までを擁しています。

共生科学部設置の趣旨の一つに「誰でも、いつでも、どこでも学べる大学」が示され、職種や地域、個々の時間の都合など、人的・時間的・場所的な情報格差を是正した学習の場を提供することを目指しています。これらのことを基本に大学経営に努めてまいります。

創設者の宮澤保夫名誉会長は、「つねに相手に新しい発見をさせたい、動機付けを与えたいという教育の原点は、幼児でも小学生でも中高生でも変わらない。大学、大学院だって同じです。『発見と動機付け』、それを忘れてはいけません。」と語っていました。私は、この「発見と動機付け」を常に念頭において教育を進めてまいります。



学長 西村 哲雄

《星槎大学の特長》

通信制も通学制も
学びやすさと遠隔で学べる
ことにこだわった大学

教職員は、全て通信教育課程での学びやメディアを使った遠隔授業に精通しており、仕事や学業、家事、育児、介護、スポーツ活動、社会活動等を行しながら学ぶ学生への理解と敬意を持ち「学生に丁寧な大学」を心がけています。

※教育実践研究科は通学制でありながら、自宅受講が可能

多職種、多世代、
多拠点の仲間とともに学ぶ

星槎大学、大学院では、様々な履修者との関わり合いを通して学びを深めます。

1つのテーマにおいて、異なる視点、異なる立場では感じ方も意見も全然違うということが実感でき、誰かの気持ちを想像する力となります。その経験は社会課題の構想を深め、自分事として捉える一助となるでしょう。

1人ひとりの状況に
合わせた学び方を

入学時期は4月生、10月生と2回

正科生、科目等履修生、資格履修生(学部)、特修生(学部)、免許法認定通信教育(大学院)、教育セミナー(大学院)、研究生(大学院)など一人ひとりの事情に合わせて学ぶことができます。



「共生」の観点から分野を超え横断的に学ぶ

共生科学部

従来の縦割りでの知識伝達型の教育を行う学問分野ではなく、「共生」をコンセプトに、日常のあらゆる切り口から分野を超えて横断的に学びを深めることができる新しい学問分野です。

通信制大学で学ぶ際に、最も大切なのが事前の計画と段取りです。

ご自身で区切りをつけ、実現可能な計画をイメージして、スケジュールを組み、学びを進めていきます。



詳細情報はHPからご確認ください。また、各ページの右上に参照・相談先が書いてありますので、迷ったことや分からないことがあればご覧ください。メールや個別の相談も受け付けております。

□開講科目一覧から興味関心に合わせた科目を探す！

シラバス



科目群を選択すると科目の詳細が表示されます。

□資格取得に必要な科目を知りたい！

教員免許状



社会福祉士



日本語教師

AS(自由座スペクトラム)
サポーター

支援教育専門士



准学校心理士



STEP

1 出願から入学まで

入学区分のご相談、最適な入学時期など個別相談やメールでの問い合わせを利用して決めていきましょう。いつから、どのくらいの期間をかけて学んでいくかのイメージがつかずやすくなります。

ご不明な点はお気軽にメールでお問い合わせください。

info@seisa.ac.jp

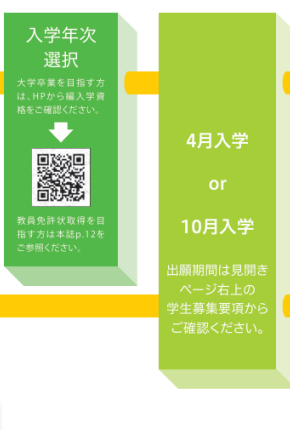
学生募集要項はこちら



① 入学区分を決める



② 入学時期を選ぶ



③ WEBで情報入力



④ 証明書の原本を郵送

◎こんな場合は正科生？
科目等履修生？

- 2年以上または5科目以上の計画で学修する方 → **正科生**
- 1年間で数科目のみ学びたい方 → **科目等履修生**
- 他大学に正科生として在籍している方 → **科目等履修生**

◎学費は従量課金制と定額制があります。

従量課金制

星槎大学の基本となる学費コースです。履修単位に応じた支払金額となるため、一人ひとりの状況によって支払金額が変動します。

定額制

正科生で、年間の支払金額を固定させたい方に適しています。

A: 250,000円 1年次入学・2年次編入学
B: 300,000円 3年次編入学
C: 400,000円 4年次編入学
D: 390,000円 すべての編入に対応 年上限48単位

※定額制A～Cについては教職課程を履修しない共生科学部または福祉系専攻の方のみが対象です。
※別添入学検定料・入学費、登録料(1年分)、専攻登録料、卒業諸費用が必要となります。

※星槎大学では、2年次、3年次、4年次の編入学・転学を受け入れています。

《卒業までにかかる学費例》 ※教材費は別途必要になります。

授業料のほか、教職課程登録費、教育実習管理費を含む専攻登録料、施設管理費、卒業諸費用等を含めた総額の例です。

学費シミュレーションはこちら



大学卒業(学士) 1年次入学
正科生(従量課金制) 合計 **1,025,000円**

中高保体1種免許状 1年次入学
正科生(従量課金制) 合計 **1,375,000円**

※星槎大学の卒業が必要な方

支援教育専門士(資格のみ取得)
正科生(従量課金制) 合計 **298,000円**

※1年次の在籍で全科目修得の場合

小学校1種免許状 3年次編入
正科生(従量課金制) 合計 **780,000円**

※他国に学士をお持ちの方

STEP

2

入学から学修開始まで

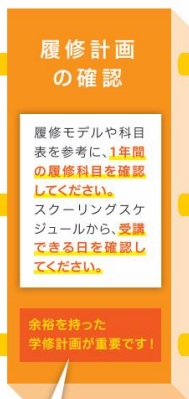
この段階で学修計画を日付まで明確にしておくことが目標達成の上で不可欠です。
計画を立てるのに不安やご心配があれば、個別のZoom履修相談をぜひご利用ください。

ご不明な点、学修で悩んだときは
個別の履修相談へ

① 合格セット受取・学費納入



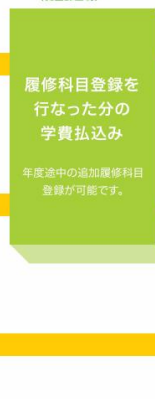
② 履修計画の確認



③ 履修科目登録



④ 学費納入 (従量課金制)



⑤ 学修開始



◎合格セットが届いたら

大学からの重要なお知らせは大学専用メールアドレスに届きます。Googleのアカウントが付与されますので、カレンダーをはじめ複数の機能を駆使して学修のサポートツールとしてご利用ください。サイトや機能の使い方も、学修説明会や履修相談で解消しましょう。

ここからご覧いただけます
学修説明会動画



☑目標達成までの手順を確認

例えば、免許状取得を目指す場合、単位認定がいつ、証明書がいつまでに必要で、いつ頃教育委員会へ申請するか、どの方法で免許を取得するか、必要な科目は何か、など詳しく確認します。資格であれば、取得条件は何か、試験はいつか、申込み等の手続きが必要か、などを確認しておきます。

☑学生ポータルサイト

履修科目登録、レポート提出、スクーリング申込み、成績確認、質問フォームからの問い合わせなど、学修に関する基本的な操作をすべて行なうサイトです。教職課程や資格に関する情報も掲載されますので、定期的に確認をしましょう。

☑学修指導書

履修科目が決まれば、すべての学修指導書をダウンロードして確認します。テキスト、スクーリングの受講条件や持ち物、レポートのテーマや評価基準、科目担当教員の情報、科目専用のGoogle Classroom情報などを確認し、レポート、スクーリング、科目修得試験の学修計画を立てます。

☑スクーリングスケジュール

スクーリングの受講方法を確認して、受講する日程を決め、履修科目登録の予約操作が必要で、定員が設けられている科目もあり、スクーリング当日の2週間前までの予約が必要です。

◎学修環境の整備

星槎大学で学ぶにあたり、以下の環境を整えることを推奨しています。

- ☑インターネット接続環境
- ☑PC (ノート・デスクトップいずれも可)
- ☑Webカメラ・イヤホン等 (オンライン会議を利用するための周辺機器)
- ☑テキスト・学修指導書

STEP

3

学修開始から単位修得まで

単位を修得するためには、少しずつでも学修をすすめていくこと、事前に立てた計画を遂行することがコツです。
立ち止まったときは、星槎大学のサポート体制を積極的に活用してみましょう。

学修方法の詳細はこちら



□これを讀んだら大丈夫！

各科目の概要、学修のすすめ方などがまとめられているほか、学修をすすめるうえでの「キーワード」「レポートのテーマ・評価基準」が科目ごとに記載されています。テキストと併用し学修してください。わからないことは、科目担当教員に直接相談できるような教員のメールアドレスを公開しているので安心して学修に取り組むことができます。学修指導書は学生ポータルサイトから無料で閲覧・ダウンロードできます。



□レポートの作成方法と提出方法

レポートの作成は「パソコン」で行い、「オンライン」で提出します。「手書き」で作成し、「郵送」で提出することも可能です。担当教員が丁寧に添削し、評価を行った後、添削内容を学生ポータルサイトに掲載します。再提出になった場合も提出期限内であれば費用はかからず、何度でも提出可能です。計画的にじっくりテーマと向き合って作成してください。

《レポートの回数と量》

単位数	レポートの本数	レポートの量
1～2単位	1本	1,600字程度
3～4単位	2本	

※科目により回数・量等が異なる場合があります。

□選べる3つのスクーリング受講方法

スクーリングとは、教員から授業を受けることです。科目ごとの開講日程や受講方法を確認し、事前のスクーリング申込みを済ませ、計画的に学修を進めましょう。

Webライブスクーリング

オンデマンドスクーリング

会場スクーリング

スクーリングについて詳しくはこちら



□科目修得試験の受験方法

試験はレポート方式です。試験課題はスクーリング受講後、もしくはレポート提出後、学生ポータルサイトから確認でき、試験日や制限時間なく自由に受験できます。自宅等で答案を作成し、オンラインまたは郵送にて期限内に提出します。

入学年度の1年間で完了させます。

4月生は2月20日まで、10月生は8月20日までに科目修得試験の提出を完了できるよう、学修を進めてください。

※卒業予定年度や教職免許・資格要件科目等は適切に異なる場合があります。

◎安心のサポート体制

マンツーマン指導員

大学の専任教員が担当する。卒業までいつでも相談可能な担任の先生です。レポートの書き方やテキスト学修の進め方、就職に関する相談、学びに関することやおすすめ科目の話など、なんでもご相談ください。

科目担当教員

科目に関することは、担当教員にご質問ください。学修指導書に記載のメールアドレスへご不明な点やご質問、ご感想などもぜひお送り下さい。

Zoom履修相談

学生ポータルサイトから個別の履修相談を予約できます。履修に関する疑問点など、困ったときはご相談ください。

質問フォーム (学生質問総合窓口)

学修や各種手続きなど、様々なことについて項目別に質問できます。疑問点やお困りごとがあれば、学生ポータルサイトの質問フォームからお問い合わせください。

教員免許状

学校にこどもを合わせず、こどもに合わせて授業や学習環境を作る教員、こどもたちの変化を作り出すために奔走できる教員、1人ひとりの違いを認め、自らも学び続ける教員の養成を目指します。こんな先生がいてくれたらな、という理想の教員を目指しましょう。

教員免許状取得方法や教育実習、申請方法についてはこちら



本学では、すべての学校種の教員免許状取得が可能です！

- ☑ 幼稚園教諭 1種
- ☑ 小学校教諭 1種
- ☑ 中学校教諭(社会・保健体育・英語) 1種
- ☑ 高等学校教諭(地理歴史・公民・保健体育・英語) 1種
- ☑ 特別支援学校教諭 1種
(「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」領域)



教育実習は日本全国で実施

ご自身の通いやすいエリアで実習先を自己開拓していただきます。教育委員会や校長会を通して依頼する自治体もあります。入学後、「内閣活動ガイダンス」にて詳しく方法や手順をご案内し、サポートします。



入学年次について

- 《1年次》**
- 同校種他教科免許状の追加
 - 隣接校種免許状の取得
 - 新たに免許状を取得する高等学校卒業者
- など
- または
- 《3年次》**
- 新たに免許状を取得する大学・短期大学・専門学校教育課程卒業者
- など

※対象となる学校の条件あり

POINT

学修内容、方法をカスタマイズ！

1

「所有免許状にプラスして他の免許状取得を目指すたい」、「同時に資格取得を目指すたい」、「他大学で一部修得済みの単位があるで残りの単位のみの修得したい」など、一人ひとりの状況に応じて個別に適切な取得方法、必要科目をご案内しています。

POINT

充実したスクーリング

2

教員免許状取得のための必修科目の多くはスクーリングが必須となっています。そのため、最新の教育事情を題材とした講義を受講できることはもちろん、その場で疑問点を解決し、次の日から実践できることも本学教職課程の魅力のひとつです。

POINT

教育実習の心強い味方

3

教育実習年度には、実習担当教員が学生一人ひとりに個別のサポートをします。これからの時代に求められる実践力のある教員を養成するため、100%の個別指導体制を整えています。教育実習に向けての相談や指導案づくりについてのアドバイスなど、実践力を高める指導を教職総合支援センターと連携して行っています。また、教育実習前に学校ボランティアとして学校現場に足を運ぶことを推奨しています。学校現場は常に変化していますので、状況やこどもたちの様子を知り、自己の課題を受け止め、教育への考えを深めること、実践力を高めることを目的としています。

通信制大学で
唯一！
※2023年12月現在



保健体育の教員免許状

通信教育課程の大学として唯一、中学校、高等学校の保健体育の教員免許状取得ができます。これからの教員には「生きる力」を育成する教育を行うことが期待されていますので、社会人としての経験や、プロスポーツ選手などの貴重な経験は、学校教育の現場で活かすことが可能です。

通信制大学で
唯一！
※2023年12月現在

特別支援学校教諭免許状の5領域をカバー

視覚障害者・聴覚障害者
知的障害者・肢体不自由者
病弱者

通信教育課程の大学として唯一、5つの領域における特別支援学校教諭免許状が取得できます。

教職課程ガイダンス

教育実習や介護等の体験の実施にあたって、星城大学の教員養成の考え方や心構えのほか、同じ志を持つ仲間とのグループディスカッションによって、しっかり準備することができます。また、動画にて教員免許申請の流れやスケジュールなどについて視覚することができると安心です。

教員採用試験対策講座

毎年、各自治体の採用試験実施時期に合わせて春に教員採用試験対策講座を実施しています。教員採用試験の最新情報のほか、論文、個人面接、場面指導、模擬授業等について実践的な内容を学び、自信をつけて教員採用試験に挑むことができます。採用試験合格者の体験談は毎年好評を得ています。

星城大学附属 教職総合支援センター

みなさんの教員免許取得にあたって、教職の専門家が日々サポートします。必要単位数の確認や個別の履修モデルの作成、履修相談等を土日や祝日もメールや電話、オンラインにて行っています。教員免許取得に向けての心強い味方です。



取得できる資格

資格を持っていることが条件であっても、その先に求められるのは学んだことを実務の場で活かせるかどうか。星城大学では、知識を得るだけでなく、現場で求められる「人間性」や「実践力」を身につけることができる環境で、明日につながる資格の取得を目指すごことができます。

星城大学で取得できる資格の一覧と、
それぞれの詳細についてはこちら



履修証明プログラム

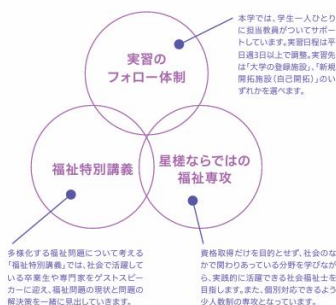
履修証明制度とは、社会人等を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)です。修了者には、単位を認定することができます。学校教育法に基づき履修証明書を交付します。学びたい分野の知識や技術を体系的に学ぶことで専門性の向上につながるだけでなく、学んだことを履歴書やジョブカードに書くことができるので、キャリアアップや転職に活用できます。(学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第146条第1項)

支援教育専門士

特別支援教育、発達障がいについての基本的な仕組みから、医学的見解や支援の方法、アセスメントの方法まで幅広く開設しており、教育、医療、福祉、スポーツに関わるすべての方々に現場で役に立つよう構成された独自のプログラムです。

社会福祉士(国家試験受験資格)

共に生きる観点から“あたりまえ”の心で福祉を考える身体や精神の障がい、または環境上の理由のために日常生活を送ることが難しい方々に対して、福祉についての相談を受け、助言や指導などの援助を行うことが社会福祉士の主な仕事です。こどもから大人まで幅広い年代を対象としており、分野も多岐に渡るので、今後の日本社会において、ますます活躍の場が広がる資格です。



社会福祉主事 任用資格

支援や保護を必要としている人に対して相談や指導を行い、福祉法に基づき援助、育成、構成などに関する事務を行うことが社会福祉主事の主な業務です。公務員として採用後、福祉事務所に現業員(ケースワーカー)として配属されて初めて効力をもちます。一般的に福祉事務所などの行政機関で働く場合に必要となり、福祉施設で働くための資格としても活用されます。

児童指導員 任用資格

児童厚生施設や児童養護施設などの児童福祉施設において、こどもたちの保護や生活指導にあたる職員のことをいいます。「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」によって定められる資格要件を満たすことが必要となります。



日本語教師養成コース

教壇実習までに、繰り返し行うブチ模擬授業で実践力をつけ、確実に教壇に立てる授業力を身につけます。

日本語を母語としない児童・生徒をはじめ、「生きづらさ」「生活しづらさ」を感じている方に幅広く日本語を教えるだけでなく、本学の教育理念に即して日本語教育を実践できる力を養成していきます。また、実務家教員が指導する実習科目は、日本語教師養成課程での経験豊富な講師陣が担当しており、実習前の準備段階から繰り返し行うブチ模擬授業、フィードバックで授業力をつけていきます。

実践力、応用力、教育に関する深い専門知識を組み合わせ、例えば外国語の障がい児・者に対する寄り添った日本語教育など、楽しく学べる環境づくりかつ、多文化共生社会の実践を担う日本語教育のスペシャリストを育成します。

小学校外国語活動指導者

こどもたちを引きつづける外国語の授業力を目指す小学校の現場では、これまで以上に英語力が求められています。この講座では、実践力を身につけるためのさまざまな指導方法を楽しく学んでいきます。英語を専門に学んでいない方や、苦手だに感じている方もぜひ挑戦してください。

【日本自閉症スペクトラム学会認定】 AS(自閉症スペクトラム)サポーター

自閉症スペクトラムを理解し、よりよいサポートの方法を学ぶ。独特な世界に生きる自閉症スペクトラムの人たちが、社会で心地よく生活できるようにサポートする。自閉症の基本的な知識とサポートの方法を修得した方に、日本自閉症スペクトラム学会が認定する資格です。

【学校心理士認定運営機構認定】 准学校心理士

すべてのこどもに寄り添い学校生活を支援する学校生活での問題について、カウンセリングなどによるこどもへの直接的援助を行うとともに、こどもを取り巻く保護者や教員、学校に対して「学校心理学」の専門的知識と技能をもって、心理教育的援助サービスを行う資格です。



専攻紹介



2024年4月から、新カリキュラムが始まります。

共生社会の実現に必要だと考えられる、時代に合わせた価値観を新たに授業へ取り入れ、学生たちの成長と社会への貢献をサポートすることを目的としてカリキュラムの改訂を行います。また、卒業要件をシンプルかつ広範に設定し、選択科目数を適切に調整することで、学士取得を目指す学生の科目選択の自由度を高めることを意図しています。

1. 時代に合わせた価値観の取り入れ

現代社会で求められるデジタルテクノロジーに関するスキルや知識を学び、考え、行動していく科目を開設します。特別支援学校教諭免許状における5領域(視覚障害者・聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者・病弱者)課程の認定を受け、これまで以上に多様性やインクルージョン、異なる文化や環境を深く理解し、学生たちが社会の変化に適切でできる力を養うことを目指します。

2. シンプルで広範な卒業要件

煩雑な卒業要件は簡素化し、基礎科目と専門科目に選択の幅を持たせることで、これまで以上に学生一人ひとりの興味と能力に合わせてカスタマイズできるように調整するとともに、直観的に分かりやすいカリキュラムを実現します。専門分野の探求や創造的なアプローチを奨励し、学生たちの成長と自己実現を支援します。

3. 選択科目数の適正化

選択科目の数や種類を調整し、選びやすい状況を整えます。

共生科学専攻

2年次
編入学可能
3年次
編入学可能
4年次
編入学可能

卒業要件はこちら



教育、特別支援、環境、国際関係を横断する専門科目で、
共生の考えを日常の暮らしと仕事に見出し実践する

共生科学部の中心となる、教育、特別支援、環境、国際関係が連携するカリキュラムで構成されています。共生科学を中心に学び、学士取得を目指す方や、中学校社会や高等学校地理歴史・公民、特別支援学校の教員免許状の取得を目指されている方が対象です。

取得可能な資格

- ☒ 中学校教諭1種(社会)
- ☒ 高等学校教諭1種(地理歴史)
- ☒ 高等学校教諭1種(公民)
- ☒ 特別支援学校教諭1種
(視覚障害者・聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者・病弱者)

科目紹介



重複障害教育総論

視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱を含む重複障害に関する心理、生理、病理について学ぶとともに、重複障害の状態や特性及び心身の発達段階、特別支援学校の教育実践に即した教育課程の編成の方法とカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方、重複障害に関する教育課程・指導法(自立活動を含む)について学びます。

専攻の選び方

正科生は出願時に、取得を目指す教員免許状・資格・目的に沿って専攻を選択します。星槎大学では、複数の免許状・資格取得を長期的に目指す方も多くいらっしゃいます。専攻選びに迷われた際は入学相談窓口へご相談ください。



初等教育専攻

3年次
編入学可能



こんな先生がいたらいいな、は皆でつくる。
1人で何でもできる先生から、みんなで一緒に取り組む先生になろう

初等教育を中心としたカリキュラムで構成されています。幼稚園教育要領、小学校学習指導要領に沿った科目を多く開講し、実践力を高める指導をそれぞれの科目で行っています。幼稚園もしくは小学校、または両方の教員免許状の取得を目指されている方が対象です。

取得可能な資格

- ☒ 幼稚園教諭1種
- ☒ 小学校教諭1種

科目紹介



《多様な幼児・児童・生徒の支援演習》

さまざまな支援ニーズのある幼児・児童・生徒を支える方法について主に特別支援教育の視点で検討します。受講者が話し合う事例検討が中心になります。

教員免許状の追加取得

既に教員免許状を所有し、他の校種・教科の追加取得をするために学ぶ方が星槎大学には多く在籍しており、基本的には個人申請(個人で書類を揃えて教育委員会へ申請を行う)による取得となります。入学前であっても相談窓口へお問い合わせいただければ、教員免許状の取得方法や必要科目をご案内します。場合によっては教育委員会から指導を受けていただく必要がありますので、学修を始める前に必要単位や申請の受付期間などを確認しましょう。



福祉専攻

3年次
編入学可能



様々な困り感を持つ人達に関する知識をベースに、
社会福祉士としての高い専門性と相談者への理解力へつながる

福祉を中心としたカリキュラムで構成され、社会福祉士国家試験受験資格の取得を目指されている方が対象です。社会福祉士国家試験受験資格取得を目指す場合、「福祉専攻」でのみ受験資格を得ることができます。共に生きる観点から福祉を考えていきます。

取得可能な資格

- ☒ 社会福祉士
(国家試験受験資格)
- 2022年度(第35回国家試験)合格実績
《総数》合格者数 20 / 受験者数 46(合格率43.5%)
《新卒》合格者数 11 / 受験者数 16(合格率68.8%)
《既卒》合格者数 9 / 受験者数 30(合格率30.0%)

科目紹介



《心理学と心理的支援》

社会福祉士など対人援助者として必要な心理学的な支援に関して、知識と技術等、広範囲に学修しながら、対人援助者としての態度も学んでいきます。

星槎の福祉はここが違う

- 社会福祉士国家試験受験資格の取得のための指定科目の一部に、新たにスクーリングを設定。自学自習でコツコツと学修を進めることが多い指定科目において、教員と学生が交流して理解を深める場面を作り、より実践的な学びを得ることが出来ます。
- 長期間かかるソーシャルワーク実習は、通いやすいエリアで、実習前年度に教員と面談を行い、ご希望の地域・日程・施設種別等を確認し、受け入れ施設と調整を図って、学生にとって無理のない実習先・日程を決定します。



スポーツ身体表現専攻

3年次
編入学可能

スポーツ身体表現専攻の
卒業要件はこちら



体育嫌いにさせないスペシャリストをめざす！
活躍の場は学校内にとどまらず、各方面へ

スポーツ身体表現を中心としたカリキュラムで構成されています。スポーツから得ることができるいろいろな関わりや経験、学びなどを通して、共生社会の実現を考えていきます。主として、保健体育(中・高)の教員免許状の取得を目指されている方が対象です。

取得可能な資格

- ☑ 中学校教諭1種(保健体育)
- ☑ 高等学校教諭1種(保健体育)

科目紹介



《インクルーシブスポーツ》

障害者や障がい者といった対象者を限定したスポーツではなく、対象者一人ひとりのニーズや心身の状態を踏まえて目的に合わせ実施する。共生社会につながるスポーツとは何かということを考えていきます。

運動が苦手な方からアスリートまで一緒に学ぶ

通信制課程で唯一保健体育の教員免許状が取得できる星槎大学のスポーツ身体表現専攻には、多様な目的をもったスポーツ×共生を目指す方々が集まっています。体育実技等の科目では対面で行われる会場スクーリングの受講が必要ですが、多世代・多職種で行う体育実技科目の楽しさ、配慮、気づきは他の学修環境では得られない貴重な体験です。



グローバルコミュニケーション専攻

3年次
編入学可能

グローバルコミュニケーション
専攻の卒業要件はこちら



Think globally, Act Locallyを実践する教育専門職へ
「日本と海外」だけではない視点から、違いを理解し尊重する

グローバルな視野で考え、ローカル(地域や国)の視点で行動する力を身につけることを目指し、そのための手段として「英語」を中心とした教育と研究を行うカリキュラムで構成されています。主として、英語(中・高)の教員免許状の取得を目指されている方が対象です。

取得可能な資格

- ☑ 日本語教師
- ☑ 中学校教諭1種(英語)
- ☑ 高等学校教諭1種(英語)

科目紹介



《異文化理解》

文化の多様性及び異文化交流の意義について意見交換をしながら理解を図ります。英語科学習指導要領の変遷を知り、「異文化理解」のコンセプトが現在大きく変化していることを理解することが大前提となります。

日本語教師と英語教員

グローバルコミュニケーション専攻では、日本語教師や中高英語教員を目指す方が中心に学んでおり、中には両方の資格に挑戦する方もいます。日本語を教える専門職、英語を教える専門職、いずれにも共通する他者への理解や楽しく学ぶための場面づくり、それらを実現するための確かな知識を学ぶことができます。さらに、それぞれの資格・免許を目指す学生同士が互いに学び合う場が様々な科目で見られます。



Voices from Current Students and Graduates

2023年11月時点の情報です。



通信制高校から進学

杉崎 友紀 さん(20代/神奈川県)
■共生科学専攻在学中
在籍期間: 3年間
目指す職業: 学習支援員
現在の職業: 学生(星槎大学へ高校卒業後進学)

Q 星槎大学の学びやすいところは?

A スクーリングが土日中心のため、平日にアルバイトができること。先生に学習や大学生活の相談がしやすいことです。

Q 今後の目標は?

A 星槎大学で取得した支援教育専門士の資格と、これから取得予定の児童指導員の資格を活かして、発達障がいのある子どもの支援がしたい。子どもの居場所を作りたいです。

Q 星槎大学の学修と並行している活動は?

A 小学校の放課後児童クラブと、母校(通信制高校)でのアルバイト、ボランティア活動。

Q 入学を検討している人へ

A マンツーマン指導員の先生には定期的に連絡をとって、学習や大学生活の相談をしています。が、親身になって話を聞いてくれます。最初はこんな事聞いてもいいのかな? 迷惑かな? なんて思いましたが、今はどんな些細なことでも、話をします。入学を検討されている方へ、不安なこと心配なこともたくさんあると思います。私もそうでした。でも、1人で抱え込まずに先生や事務局の方に相談してみてください。きっと親身になって話を聞いてくれると思います。最後に、学習で大変なこともあります。私は星槎大学に入学して良かったです。



塾経営と両立

長島 俊記 さん(50代/東京都)
■共生科学専攻在学中
在籍期間: 4年間
目指す資格: 高校教諭(公民)
現在の職業: 塾経営

Q 星槎大学の学びやすいところは?

A 事務的にも教務的にも質問に対し迅速に答えてくださる。土日でも返信が来るのには感動した。

Q 星槎大学の学びが役に立った場面は?

A 教育現場のことについて詳しい。公教育について世間で認知されていないことまで学べる。星槎大学で教わったことをもとに、「教育学」の授業として看護専門学校で教えている。

Q 今後の目標は?

A 以前は偏差値の高い学校への進学のための仕事をしていたが、現在は公立の学校の授業と進学にも携わっている。国内でそうした学校の架け橋となり、両立に尽力したい。

Q 星槎大学の学修と並行している活動は?

A 学習塾を経営しながら星槎大学で教員免許を取り、科目数を増やそうとしている。

Q 入学を検討している人へ

A まずやってみる。自分で考えてダメなものは投げだす前に人に聞く。星槎大学は応えてくれるでしょう。



教員と両立

野口 まゆみ さん(40代/北海道)
■初等教育専攻在学中
在籍期間: 5年間
目指す資格: 中高保健体育教諭・特別支援学校教諭・幼稚園教諭・小学校教諭
現在の職業: 教員

Q 星槎大学の学びやすいところは?

A スクーリングがZOOMであったり休日であったので、平日仕事をしながら学ぶことができた。

Q 今後の目標は?

A 幼児期から社会人までの一貫した、バスケットボールのクラブを立ち上げ、人間育成としてのコーチングを行っていきたい。

Q 星槎の学びが役に立った場面は?

A 高校の教諭として、生徒指導などで大変活かされている。

Q 星槎大学の学修と並行している活動は?

A 家庭科の教員として働きながら、保健体育・特別支援・幼稚園教諭・小学校教諭の免許取得に向けて学習しています。

Q 入学を検討している人へ

A 自分の心にある情熱を形に! 行動が変われば人生が変わります! 一緒に頑張りましょう!



海外で働きながら両立

眞崎 幸二 さん(40代/タイ)
■グローバルコミュニケーション専攻出身
在籍期間: 1年間
取得した資格: 日本語教師
現在の職業: 大学教員

Q 星槎大学の学びやすいところは?

A スクーリングがオンラインで土日祝日だったので時間の都合がつけやすかったです。在職の大学で、通常業務を行いながら、学んでいました。

Q 今後の目標は?

A 星槎大学での学びを在職の大学業務で活かしていきたいです。それから、オンラインで受講可能な日本語教育に関する大学院を探そうと思っています。

Q 星槎の学びが役に立った場面は?

A 星槎大学の先生方が親切、丁寧に課題へのフィードバックや質問への返答をしてくださったことを思い出し、自分も今教えている学生に対して出来るだけ親切、丁寧に対応するように心がけています。私にとってこの学びがいちばん印象に残り、そして現在役に立っていることだと思います。

Q 入学を検討している人へ

A 日本語教師養成コースで一番印象に残っているのは、2023年夏に行われた4日間の教育実習でした。ここでの学び、そして先生方や学生のみなさんとの出会いは私にとってこの先も大きな財産になるはずです。



遠藤 和花奈 さん (30代/千葉県)

■グローバルコミュニケーション専攻在学中
在籍期間：1年間
目指す資格：日本語教師
現在の職業：私立通信制高校勤務

Q 星槎大学の学修と並行している活動は？

A 通信制高校に勤務しながら、星槎大学で日本語教師資格取得に向け学修しています。

Q 星槎大学の学びやすいところは？

A スクーリングが土日祝日、かつオンラインでの開講で、自宅から受講できることです。そのため、平日の仕事と両立することができました。

Q 今後の目標は？

A 日本語教育をもっと学び、教科指導も日本語指導もできる先生になりたい。いずれは国家資格の「登録日本語教師」も目指したいと考えています。(2023年12月時点の情報を)

Q 星槎の学びが役に立った場面は？

A 日本語教育に関する科目でいえば、授業を通して、日本語を教える方法を実践的に取りくむため、個人的に参加をしているボランティアの日本語教室で、すぐに役に立ちました。その他に履修した科目では、その学びの中での発見や新たな疑問を、生徒に話したり、ともに議論できたりしました。



中山 美穂 さん (20代/神奈川県)

■福祉専攻卒業
在籍期間：2年間
目指す資格：社会福祉士
現在の職業：会社員

Q 今後の目標は？

A 4月より、東京都社会福祉協議会にて働きます。現場の声を、政策や制度に反映し、生きづらさを抱える人が少しでも少なくなる社会を目指して、精進したいと思っています。

Q 星槎の学びが役に立った場面は？

A ・レポートメインの課題が多く、自分で「考える力」が身につく
特に福祉分野では正解がないからこそ、学んだ知識をどう活用していくかが問われます。知識を自分の言葉で紡いでいけることは非常に重要であると考えます。

・情報収集能力が身につく

レポート課題は、受け身ではなく主体的に学ぶ必要があり、教科書や書籍、ネット上の文献等を活用して学びを深めています。どのように情報を取捨選択していくか、知らない知識を学ぶ際にも役に立っています。

・スクーリングで、多様な学生と交流し様々な価値観や背景に触れたことで、実際の相談援助の現場でも、多様な価値観を考えることが出来、自身の幅が広がった。

Q 入学を検討している人へ

A 一緒に学びを深めた学生とは、卒業後も連絡を取り合い、良い関係を築きながら切磋琢磨しています。関心分野が近く、熱量を持った仲間と出会えることは、嬉しい日々励まされています。



大原 甫 さん (30代/神奈川県)

■共生科学専攻在学中
在籍期間：4年間
目指す資格：大学卒業 高校教諭 (地歴)
現在の職業：プロレスラー

Q 星槎大学の学びやすいところは？

A オンデマンドスクーリングの科目も多く、時間と場所を選ばない自分の都合に合った学習が出来る事が仕事をしている人間として、とても学びやすいと感じる所です。また、先生や事務員の方がサポートしてくださり学びやすい環境です。

Q 今後の目標は？

A 私は32歳の時に定時制高校に通いました。そして現在、星槎大学で学んでいます。現役のプロレスラーをしながら中卒から高卒、高卒から大卒、大卒から教員というキャリアを歩んだ人は過去に前例がありません。プロレスも学業も諦めず闘う姿勢の大切さを感じています。こうした経験を活かし、卒業後は非常勤の教員として教育に携わり教壇に立ち、土日はリングとしてつこうような新たなキャリアを作りたいです！

Q 星槎の学びが役に立った場面は？

A 大学に入学し共生を学び、視点が大きく変わりました。プロレスの仕事において視覚障害者の方を置いてきぼりにしているのではと感じ、音声実況ガイダンスを取り入れて視覚障害者であっても楽しめるプロレス観戦の場と機会を作りました。非常に喜ばれて私の地元の川崎で4年間実施しています。こうした企画を創れたのは、星槎での学びがあったからです。



田村 果暖 さん (20代/静岡県)

■科目等履修生 (大学進路)
在籍期間：2年間
目指す資格：特別支援学校教諭
現在の職業：教員

Q 星槎大学の学びやすいところは？

A 個々にスクーリングやレポートを進める授業では、自分のペースで学習することができました。

Q 今後の目標は？

A 教員生活を続けて、先輩教員や児童・生徒から多くのことを学び、日々教員としての専門性を高めていきたいです。

Q 星槎の学びが役に立った場面は？

A 教育実習の経験で学んだ先生方の児童に対する接し方や支援方法等のさまざまなことが今の教員生活に役立っていると感じます。

Q 星槎大学の学修と並行していた活動は？

A 他大学の卒業を目指しながら星槎大学では特別支援学校の教員免許状取得に向けて学修していました。

Q 入学を検討している人へ

A スクーリングの授業では同じ目標をもった方々と話すことができ、学修に対するモチベーションを上げることができました。

学生データ

星槎大学の学生は職業、年齢、地域、学歴もバラバラ。それぞれの状況に合わせて、一人ひとりのペースで無理なく学んでいきましょう。

受講生・卒業生の声はこちら



■累計在籍者総数 (2023年11月時点)

36,239名

2004年の開学以来、多くの方が星槎で学んでいます。

■職業

- 28.56% ▶ 教員
- 23.25% ▶ 学生 (ダブルスクール含む)
- 14.23% ▶ 主夫・主婦・非常勤職員
- 9.07% ▶ 会社員
- 5.12% ▶ 学校職員
- 3.67% ▶ 福祉施設職員
- 3.52% ▶ 教育業界
- 2.71% ▶ 公務員 (教員以外)
- 2.07% ▶ 自営業
- 1.16% ▶ 医療機関職員
- 6.64% ▶ その他

■年齢構成

- 16～22歳 22.5%
- 23～29歳 25.7%
- 30～39歳 17.9%
- 40～49歳 17.8%
- 50～59歳 12.5%
- 60歳以上 3.6%

平均年齢は34歳です。
18歳～90歳までの学生と一緒に学んでいます。

■男女比率

女性 47.9% 男性 52.1%

■学生分布

- 北海道 8.4%
- 東北 4.2%
- 関東 39.1%
- 中部 13.3%
- 近畿 14.6%
- 中国 3.5%
- 四国 1.7%
- 九州・沖縄 14.0%
- 海外 1.2%

世界中でも多くの学生が学んでいます。
アメリカ・ブラジル・チリ・オランダ・ドイツ・フランス・フィンランド・オーストラリア・中国・香港・台湾・韓国・ベトナム・タイ・シンガポール・ブータン・エリトリア国・エジプト・南アフリカなど

■最終学歴

- 高等学校卒業 14.1%
- 専門学校卒業 3.9%
- 短期大学卒業 6.9%
- 大学卒業 47.8%
- 海外の大学または短期大学卒業 0.3%
- 高等学校卒業程度認定試験合格 0.4%
- その他 26.6%
(ダブルスクール・学校中退者等を含む)

■2022年度 教職課程登録者数 (教員免許状取得を目指している方)

正科生	共生科学専攻	207	科目等履修生	1,000
	初等教育専攻	265		
	スポーツ身体表現専攻	248		
	グローバルコミュニケーション専攻	104		
	福祉専攻	0		
正科生合計		824	合計	1,824名

■2022年度 教育実習実績

(1) 実習先ごとの人数

実習先	初等		中等		特別支援学校	合計
	幼稚園	小学校	中学校	高等学校		
実習人数	18	150	51	58	0	384

(2) 中等・教科ごとの人数

社会・公民・地歴免許希望者	保健体育免許希望者		英語免許希望者	
	中学校	高等学校	中学校	高等学校
高校	10	37	7	10
中高 両方	1	0	0	0
合計	19	73	7	17

■2022年度 教員免許状取得者数 (学力に関する証明書発行数)

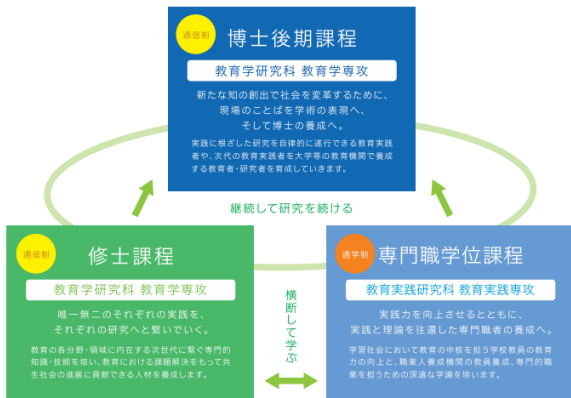
免許種	正科生	科目等履修生	合計
幼稚園	38	59	97
小学校	153	233	386
中学校 (社会)	46	35	81
中学校 (保健体育)	79	33	112
中学校 (英語)	31	18	49
高校 (地歴)	25	28	53
高校 (公民)	37	30	67
高校 (保健体育)	85	41	126
高校 (英語)	26	16	42
特別支援学校	124	239	363

中学校合計
242
高等学校合計
288

星槎大学大学院



教育やその関連分野の専門的知識・技能を身につけ、教育に関する学術研究および課題解決のための実践研究を行います。実践と理論を往還して自律的に研究を遂行することを通じて、次世代の教育を形作り、共生社会の進展に貢献できる人材を育成します。



在学生データ 2023年12月時点

□専攻

教育学研究科 修士課程	教育学研究科 博士後期課程	教育実践研究科 専門職学位課程
----------------	------------------	--------------------

82名

10名

39名

□平均年齢

46.0歳

20代から70代まで幅広く学んでいます。

□仕事をしながら学んでいる人数

125名 / 131名

育休期間を活用して学んでいる方もいます。

□職業

学校教員	61名
看護系教員	20名
看護師	14名
その他	36名

□居住地

北海道	11名
東北	4名
関東	69名
中部	9名
近畿	18名
中国	8名
四国	1名
九州・沖縄	11名

修了生の活躍

問題の核心に迫るため博士後期課程へ進学しました

教育学研究科 博士後期課程(修了生)

航空自衛隊 心理療法士 藤井 淳子さん(ふじいあきこ)

修士課程では、航空自衛隊のメンタルヘルスに関わる集団凝集性の特性や、その形成プロセスの一面を明らかにすることができました。しかし、問題の核心は現行のレジリエンス・トレーニングのメンタルヘルスにおける有効性を実証的に確認し、必要な改訂を行うことでした。そのために進んだ博士課程では、研究を重ねることに組織との対話が活性化し、気づきを研究に反映することができました。それは博士課程の掲げる「実践と理論の往還」に他ならなかったと思います。こうした「実務家-研究者」モデルは、様々な現場で求められる、新しい形ではないかと思っています。



修了後、会社を起業しました

教育実践研究科 専門職学位課程(修了生)

看護師・看護教員・会社役員 池辺 瞭さん(いけべりょう)

大学院修了後、「ソリューションを通して、看護師・看護学生に真正な学びを提供する」ため会社を起業しました。看護師として病院内で勤務している、または教員として看護専門学校・大学で勤務しているだけでは、一組織の教育はより良くなったとしても、全国的には変化が生じないというジレンマを感じていたからです。もともと星槎を選んだ理由は、教育学の理論を学ぶだけでなく、学習者に対して効果的な教育を実践するためでした。星槎で学んだ「仮説検証」「論理的思考」は現場の会社経営の実践において、非常に活かされていると感じています。



修了生のキャリアパス



教育学研究科 修士課程(修了生)

熊倉 佐和子さん(くまくらさわこ)

入学前

小学校教員

修了後

大学教員

子どもが主体性や創造性を発揮できる小学校教育委員の学習過程を探ってました。また、教師の成長にも関心をもっており、星槎大学大学院で学ぶことにしました。明確な研究テーマを見いだすと、先行研究やデータを得て論理的に考えること、誰にでもわかる言葉で表すことの大切さを知りました。現在は、大学(教育学部)の教員になり、大学院で研究の方向性も定まり、人とのつながりが広がってわくわくドキドキの毎日を送っています。



教育実践研究科 専門職学位課程(修了生)

白川 はるひさん(しらかわ はるひ)

入学前

短期大学教員

修了後

短期大学学長

星槎大学では、専門知識や研究方法について学んだ他、教職員の皆さんの学生支援の姿勢から、教育者としての在り方を学べたことが大きな財産になりました。教員教育部長の長を経て今年度より学長を拝命しております。先生方から贈りされた「それが本当に学生のためになっていますか」という問いかけが心に刻まれており、授業内での小さな教示についても、組織運営においても、判断の原点になっています。

教育訓練給付金 指定講座

教育学研究科

修士課程[通信制]
学位:修士(教育)

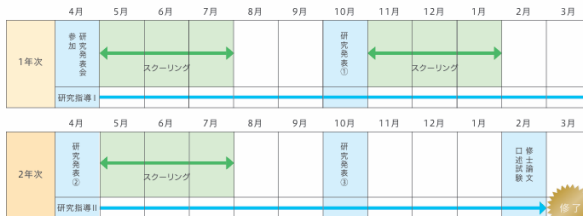
共生の視点から教育を検証する

教育学研究科修士課程では、教育に関する知識を深く教育の視点から研究し、2年間で修士論文をまとめます。教員との関わりの中で研究者としての倫理を身につけ、研究方法を学び、実際に論文をまとめる一連の流れから、研究者に必要な素地の獲得を目指します。

■教育学研究科(通信制)の学び方



《2年間のスケジュール》(4月入学の場合)



取得可能な教員免許状

以下の校種・科目の1種免許状をお持ちの方は、指定の科目を24単位以上(3年以上勤務経験がある場合は15単位以上)お取りいただくことで、専修免許状への進上が可能です。新免許状の場合にはお持ちのすべての免許状が新しい期限に延長となります。

○小学校教諭専修免許状 ○特別支援学校教諭専修免許状(領域・知的障害者)※1

※1 通信制大学院で唯一、特別支援学校(知的障害者)の専修免許状への進上が可能です。

教育訓練給付金 指定講座

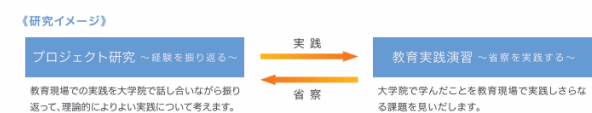
教育実践研究科

専門職学位課程[通学制]
学位:教育修士(専門職)

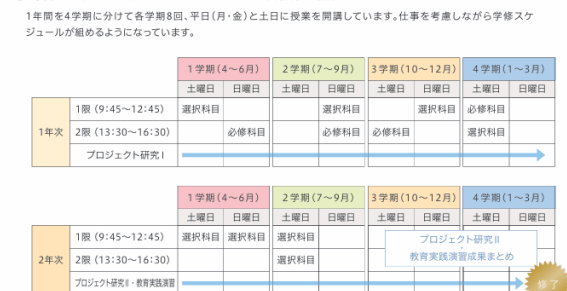
現場の課題を見つめ直し、実践力を高める

教育実践研究科では、仲間との議論を通じて自身の教育現場での実践を見つめ課題を見出し、よりよい教育実践のあり方を考え実行していきます。教育の専門性を高め、周囲の人と協働関係を築きながら、現代の教育課題を解決できる実践能力の獲得を目指します。

■教育実践研究科(通学制)の学び方



《2年間のスケジュール》(4月入学の場合)



取得可能な教員免許状

以下の校種・科目の1種免許状をお持ちの方は、指定の科目を24単位以上(3年以上勤務経験がある場合は15単位以上)お取りいただくことで、専修免許状への進上が可能です。新免許状の場合にはお持ちのすべての免許状が新しい期限に延長となります。

○小学校教諭専修免許状
○中学校教諭専修免許状(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)
○高等学校教諭専修免許状(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、商業、福祉、英語)

教育学研究科 博士後期課程[通信制]

学位:博士(教育)



現場に根ざした実践研究を進め、成果を現場に

教育学研究科博士後期課程では、自身の実践経験があるからこそ気づく現場の原問題、研究のタネを学術の言葉で表現し、研究題目の視点に高めた上で、博士論文という枠組みを使用し、課題の解決と得られた知見を社会に発信・還元する人材の育成を目指します。

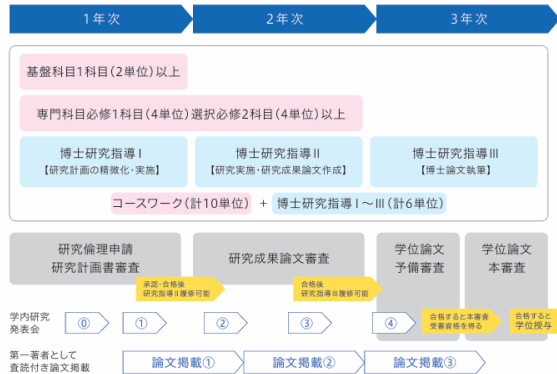
養成する人物像

【ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)】

共生の理念のもと、実践の深い問題意識に裏打ちされた高い専門性を持ち自律的に研究を遂行できる教育・研究の実践者を養成する目的から、博士論文、それに付随する単位修得、学会活動や論文発表等の業績によって、以下の要件をすべて満たす者に対して、博士(教育)の学位を授与します。

- 1) 自身の専門分野の知識を活かしつつ、教育に関する実践と理論を往還して自律的に研究を遂行する能力を持つこと。
- 2) 教育の現場における課題を本質的に問いつけ、実践から応用可能な理論を導く能力を持つこと。
- 3) 自身の専門分野の教育について、個人から社会システムまでを含むような包括的な視点で俯瞰できる能力を持つこと。
- 4) 実践を基にした研究から生まれた知見を生かし、教育の現場での実践的な問題解決を行うとともに、現場の改善へとつなぐ役割を積極的に担い、研究成果の情報発信を士として能力を持つこと。

■3年間の博士論文作成モデルスケジュール



星槎大学大学院についてよくある質問

Q 横浜まで通う必要がありますか？

A 一部の演習科目を除き、ほとんどの科目はご自宅からインターネット回線を通じてスクリーニング・授業を受けることが可能です。

Q 仕事をフルタイムで続けながら、学修できますか？

A フルタイムで仕事を続けながら大学院で学修できるように、カリキュラムが構成されています。

Q 学費のサポートはありますか？

A 授業料の分納は、2分納、8分納がご利用いただけます。また、各種奨学金の利用が可能です。修士課程・専門職学位課程では教育訓練給付金の利用も可能です。

Q 事前に研究内容について相談をすることは可能ですか？

A 出願前に教員との研究に関する個別相談を推奨します。インターネット環境が整っていれば、ご自宅からでも行うことができます。また、事務局職員より、研究科の概要や出願にあたっての具体的な手続きなど、全般的な内容の個別相談も行っております。以下のフローをご覧ください。

出願までのフロー

星槎大学大学院では、出願前に教員も同席して研究テーマの事前相談を行うことができます。研究テーマが固まっていない方も、安心して出願まで準備を進められます。



専修免許状取得オンライン講座《免許状認定通信教育》

小学校・中学校・高等学校・特別支援学校(知的障害者領域)の1種免許状を専修免許状へ上進が可能です。

本学Web上で通年お申し込み可能です。



適応自立支援コース 付帯事業(平成24年4月設置)

社会に参加するためのスキル・マナーを学び いっしょに社会へ飛び出そう

社会性を身につけるための「ソーシャルスキル」と、生活自立のための「ライフスキル」を学びます。さまざまな体験学習・実習をしながら社会的な自立を目指し、一歩一歩ともに歩んでいくコースです。1人1人の性格に合わせて、就労移行を丁寧に行っています。教員が就職先の開拓や、面談への同席などを時間をかけて実施しています。

対象者

- ・ 社会に出て働くために必要な力をじっくり身につけたい人たち
- ・ 発達にアンバランスのある人たち
- ・ ひきこもりの傾向がある人たち
- ・ 仕事が続かなくて悩んでいる人たち

※高校卒業後～30歳まで幅広い年代を対象にしています。

・ 2年制 ・ 定員30名 詳しいお問い合わせは(info_yicw@seisa.ac.jp)まで

□時間割(1年次例)

	月	火	水	木	金
1時間 9:00~10:30	農業	読む・書く・聞く・話す	実習	調理	自己理解 他者理解
2時間 10:40~12:10	自己管理能力	コミュニケーション	パソコン	調理	生活の数学
			昼休み		
3時間 13:00~14:30	音楽	自立と共同生活	職業訓練	家事	整体リラックス
4時間 14:40~16:10	社会の知識	心と体のバランス	職業訓練	家事	
			終礼・清掃		

星 槎 グ ル ー プ

〈公益財団法人 世界こども財団(FGC)〉

〈学校法人 国際学園〉

- 星槎もみじ中学校
- 星槎フリースクール事業
- 星槎国際高等学校(広域通信制)
- 戸部、旭川、北広島、札幌、札幌北、草部、仙台、郡山、川口、立川、八王子、横浜、横浜、厚木、湘南、小田原、甲府、静岡、浜松、名古屋、富山、福井、大原、広島、香取、九尾、福岡県、福岡中央、北九州、沖縄、那覇
- 星槎大学大学院
- 星槎湘南大磯キャンパス
- 横浜キャンパス
- 星槎箱根キャンパス
- 星槎小田原キャンパス
- 星槎高尾キャンパス
- 星槎川口キャンパス
- 星槎富山キャンパス
- 星槎札幌もみじキャンパス
- 星槎レイクアリーナ箱根
- 地域コミュニティFM放送局 湘南マジックウェイブ(SMW85.6MHz)
- 外国人介護福祉事業部
- 〈学校法人 星槎〉
- 星槎中学校
- 星槎名古屋中学校
- 星槎高等学校
- 星槎ブレアカデミー事業

〈星槎学園 初等部・中等部・高等部〉

- 北斗校
- 湘南校
- 横浜ポートサイド校
- 大宮校

〈学校法人 北海道星槎学園〉

- 星槎道都大学

〈学校法人 星槎こども園KIDS planet〉

- 幼保連携型 認定こども園 ビーターン・幼稚園
- 幼保連携型 認定こども園 青葉台幼稚園

〈社会福祉法人 星槎〉

- 男川南台保育園
- ディンクル上野川保育園
- ディンクル瀬谷保育園
- ディンクルくぬぎ坂保育園

〈NPO法人 星槎教育研究所〉

- 〈NPO法人 星槎さっぽろ教育センター〉
- 〈NPO法人 創作和太鼓集団「打鼓音」〉
- 〈NPO法人 劇団新制作〉
- 〈株式会社リプロ〉
- 〈農業生産法人 星の島〉
- 〈横浜・ブータン王国友好協会〉
- 〈医療・教育未来創生研究所〉
- 〈神奈川県青年海外協力隊支援協会〉
- 〈国際部〉
- 〈一般社団法人 スペースウェザー協会〉
- 〈一般財団法人 星槎湘南大磯総合型スポーツクラブ〉
- 〈一般財団法人 星槎箱根仙石原総合型スポーツクラブ〉
- 〈宇宙研究支援(アスカ大学・NASA)〉
- 〈有限会社 湘南マジックウェイブ〉
- 〈株式会社 Kurikindi Design〉
- 〈湘南事務機サービス株式会社〉
- 〈RAFT PROJECTS 合同会社〉

《全国に広がるキャンパス》



星槎大学 教職課程履修規程

(趣旨)

第1条 この規程は、星槎大学学則（以下「学則」という。）第38条5に基づき、星槎大学（以下「本学」という。）における教職課程（以下「本課程」という。）の履修に関し必要な事項を定める。

(定義)

第2条 本課程を履修し教育職員免許状を取得しようとする者は、「教育職員免許法」および、「教育職員免許法施行規則」に定めるところに従い、本学所定の単位を取得しなければならない。

(教員免許状の種類)

第3条 本学共生科学部共生科学科各専攻において取得できる教育職員免許状（以下「免許状」という）は以下のとおりである。

専 攻	免許状
共生科学専攻	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民） 特別支援学校教諭一種免許状
初等教育専攻	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状
スポーツ身体表現専攻	中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育）
グローバルコミュニケーション専攻	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）

(要件)

第4条 前条の免許状を取得しようとする者は、下記の条件を充たさなければならない。

1. 学則第46条に定める卒業に必要な要件を充たしていること。
2. 幼稚園教諭一種免許状の取得に関する必要単位について

(1) 以下の教職免許法施行規則第66条の6に定める科目より、必修単位を含め8単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1科目 選択必修	英語コミュニケーション (1)	2
必修	スポーツ(1)	1		英語コミュニケーション (2)	2
必修	スポーツ(2)	1	必修	情報処理	2

(2) 以下の領域及び保育内容の指導法に関する科目より、必修単位を含め24単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	保育内容(健康)	2	必修	保育内容の指導法(健康)	2
必修	保育内容(人間関係)	2	必修	保育内容の指導法(人間関係)	2
必修	保育内容(環境)	2	必修	保育内容の指導法(環境)	2
必修	保育内容(言葉)	2	必修	保育内容の指導法(言葉)	2
必修	保育内容(音楽表現)	2	必修	保育内容の指導法(音楽表現)	2
必修	保育内容(造形表現)	2	必修	保育内容の指導法(造形表現)	2

(3) 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め25単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理	2	必修	教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む)(初等)	2
必修	教職概論	2	必修	幼児理解の理論と方法	2
必修	教育経営・学校安全論	2	必修	教育相談	2
必修	教育心理学	2	必修	教育実習(初等)(1)	5
必修	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解	2	選択	教育実習(初等)(2)	3
必修	教育課程論	2	必修	教職実践演習(初等)	2

(4) 先に示した領域及び保育内容の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め 51 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習	2
選択	発達障害教育総論	2	選択	多様な幼児・児童・生徒の支援演習	2
選択	持続可能な開発のための教育 (ESD)	2	選択	学校ボランティア	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2	選択	介護等の体験	1

3. 小学校教諭一種免許状の取得に関する必要単位について

(1) 以下の教職免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目より、必修単位を含め 8 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1 科目 選択必修	英語コミュニケーション (1)	2
必修	スポーツ (1)	1		英語コミュニケーション (2)	2
必修	スポーツ (2)	1	必修	情報処理	2

(2) 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め 40 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教科 (国語)	2	必修	初等教科教育法 (国語)	2
必修	教科 (社会)	2	必修	初等教科教育法 (社会)	2
必修	教科 (算数)	2	必修	初等教科教育法 (算数)	2
必修	教科 (理科)	2	必修	初等教科教育法 (理科)	2
必修	教科 (生活)	2	必修	初等教科教育法 (生活)	2
必修	教科 (音楽)	2	必修	初等教科教育法 (音楽)	2
必修	教科 (図画工作)	2	必修	初等教科教育法 (図画工作)	2
必修	教科 (家庭)	2	必修	初等教科教育法 (家庭)	2
必修	教科 (体育)	2	必修	初等教科教育法 (体育)	2
必修	教科 (外国語)	2	必修	初等教科教育法 (外国語)	2

(3) 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め29単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理	2	必修	特別活動の指導法（初等）	1
必修	教職概論	2	必修	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（初等）	2
必修	教育経営・学校安全論	2	必修	生徒・進路指導論（初等）	2
必修	教育心理学	2	必修	教育相談	2
必修	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解	2	必修	教育実習（初等）（1）	5
必修	教育課程論	2	選択	教育実習（初等）（2）	3
必修	道徳の理論・指導法（初等）	2	必修	教職実践演習（初等）	2
必修	総合的な学習の時間の指導法（初等）	1			

(4) 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め59単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習	2
選択	発達障害教育総論	2	選択	多様な幼児・児童・生徒の支援演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	学校ボランティア	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2	選択	介護等の体験	1

4. 中学校教諭一種免許状の取得に関する必要単位について

(1) 社会

ア. 以下の教職免許法施行規則第66条の6に定める科目より、必修単位を含め8単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1 科目 選択必修	英語コミュニケーション (1)	2
必修	スポーツ (1)	1		英語コミュニケーション (2)	2
必修	スポーツ (2)	1	必修	情報処理	2

イ. 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め 28 単位以上修得していること。

1) 教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	歴史概説 I	2	いずれか 1 科目必修	社会学	2
必修	歴史概説 II	2		経済学	2
選択	アジアの近代と社会	2	1 科目以上 選択必修	医療社会学	2
選択	日本史 I	2		比較文化論	2
選択	外国史 I	2		環境と社会	2
必修	地理概説 I	2		世界の見方とジャーナリズム	2
1 科目以上 選択必修	地理概説 II	2	いずれか 1 科目必修	哲学・倫理学	2
	人文地理学	2		宗教学	2
	自然地理学	2	いずれか 1 科目選択 必修	環境と倫理	2
必修	法学	2		公共哲学	2
1 科目以上 選択必修	国際法	2			
	国際関係論	2			
	環境法	2			
	政治学	2			

3) 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	社会科公民科指導法 I	2	必修	社会科公民科指導法Ⅲ	2
必修	社会科公民科指導法 II	2	必修	社会科公民科指導法Ⅳ	2

ウ. 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め 29 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理	2	必修	特別活動の指導法（中等）	1
必修	教職概論	2	必修	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育心理学	2	必修	教育相談	2
必修	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（１）	5
必修	教育課程論	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（２）	3
必修	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2

エ. 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め 59 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習	2
選択	発達障害教育総論	2	選択	多様な幼児・児童・生徒の支援演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	学校ボランティア	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2	選択	介護等の体験	1

（２）保健体育

ア. 以下の教職免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目より、必修単位を含め 8 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1 科目 選択必修	英語コミュニケーション (1)	2
必修	スポーツ (1)	1		英語コミュニケーション (2)	2
必修	スポーツ (2)	1	必修	情報処理	2

イ. 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め 33 単位以上修得していること。

1) 教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	体づくり運動	1	必修	運動学	2
必修	器械体操	1	必修	生理学	2
必修	陸上	1	必修	スポーツ生理学	2
必修	水泳	1	選択	解剖学	2
必修	野球	1	必修	衛生学	2
いずれか 1 科目 必修	サッカー	1	必修	公衆衛生学	2
	バスケットボール	1	必修	学校保健概論	2
いずれか 1 科目 必修	バレーボール	1	必修	救急処置法	2
	バドミントン	1			
必修	柔道	1			
必修	ダンス	1			
いずれか 1 科目 必修	スポーツ原理	2			
	スポーツ心理学	2			
	スポーツ経営管理論	2			
	スポーツ社会学	2			
	体育史	2			

2) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	陸上演習	2	選択	球技演習	2

3) 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	保健体育科指導法Ⅰ	2	必修	保健体育科指導法Ⅲ	2
必修	保健体育科指導法Ⅱ	2	必修	保健体育科指導法Ⅳ	2

ウ. 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め29単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理	2	必修	特別活動の指導法（中等）	1
必修	教職概論	2	必修	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育心理学	2	必修	教育相談	2
必修	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（１）	5
必修	教育課程論	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（２）	3
必修	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2

エ. 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め59単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習	2
選択	発達障害教育総論	2	選択	多様な幼児・児童・生徒の支援演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	学校ボランティア	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2	選択	介護等の体験	1

(3) 英語

ア. 以下の教職免許法施行規則第66条の6に定める科目より、必修単位を含め8単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1科目 選択必修	英語コミュニケーション (1)	2
必修	スポーツ(1)	1		英語コミュニケーション (2)	2
必修	スポーツ(2)	1	必修	情報処理	2

イ. 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め28単位以上修得していること。

1) 教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	英語学概論Ⅰ	2	選択	英語総合 (Reading&Writing)	2
必修	英語学概論Ⅱ	2	選択	英語基礎 (Listening&Speaking)	2
必修	英語文学論(1)	2	選択	英語総合 (Listening&Speaking)	2
選択	英語文学論(2)	2	必修	異文化理解	2
必修	英語文学講読(1)	2	選択	異文化間コミュニケーション	2
選択	英語文学講読(2)	2	選択	国際関係論	2
必修	実践英語コミュニケーションⅠ	2	選択	比較文化論	2
必修	実践英語コミュニケーションⅡ	2	選択	世界の見方とジャーナリズム	2
選択	英語基礎 (Reading&Writing)	2			

2) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	英語演習(1)	2	選択	英語演習(2)	2

3) 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	英語科指導法Ⅰ	2	必修	英語科指導法Ⅲ	2
必修	英語科指導法Ⅱ	2	必修	英語科指導法Ⅳ	2

ウ. 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め29単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理	2	必修	特別活動の指導法（中等）	1
必修	教職概論	2	必修	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育心理学	2	必修	教育相談	2
必修	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（1）	5
必修	教育課程論	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（2）	3
必修	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2

エ. 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め59単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習	2
選択	発達障害教育総論	2	選択	多様な幼児・児童・生徒の支援演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	学校ボランティア	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2	選択	介護等の体験	1

5. 高等学校教諭一種免許状の取得に関する必要単位について

(1) 地理歴史

ア. 以下の教職免許法施行規則第66条の6に定める科目より、必修単位を含め8単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1科目 選択必修	英語コミュニケーション (1)	2
必修	スポーツ(1)	1		英語コミュニケーション (2)	2
必修	スポーツ(2)	1	必修	情報処理	2

イ. 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め24単位以上修得していること。

1) 教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本史Ⅰ	2	必修	人文地理学	2
必修	日本史Ⅱ	2	必修	自然地理学	2
選択	歴史概説Ⅰ	2	選択	地理概説Ⅰ	2
必修	外国史Ⅰ	2	選択	地理概説Ⅱ	2
必修	外国史Ⅱ	2	必修	地誌Ⅰ	2
選択	歴史概説Ⅱ	2	必修	地誌Ⅱ	2
選択	アジアの近代と社会	2			

2) 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	地理歴史科指導法Ⅰ	2	選択	地理歴史科指導法Ⅱ	2

ウ. 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め25単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理	2	必修	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）	2
必修	教職概論	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論	2	必修	教育相談	2
必修	教育心理学	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（２）	3
必修	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（１）	5
必修	教育課程論	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2
必修	特別活動の指導法（中等）	1			

エ. 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め５９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習	2
選択	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	多様な幼児・児童・生徒の支援演習	2
選択	発達障害教育総論	2	選択	学校ボランティア	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	介護等の体験	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2			

（２）公民

ア. 以下の教職免許法施行規則第６６条の６に定める科目より、必修単位を含め８単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1 科目 選択必修	英語コミュニケーション (1)	2
必修	スポーツ (1)	1		英語コミュニケーション (2)	2
必修	スポーツ (2)	1	必修	情報処理	2

イ. 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め 24 単位以上修得していること。

1) 教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	法学	2	いずれか 1 科目必修	哲学・倫理学	2
必修	国際法	2		宗教学	2
1 科目以上 選択必修	国際関係論	2	1 科目以上 選択必修	心理学 (1)	2
	環境法	2		心理学 (2)	2
	政治学	2		環境と倫理	2
いずれか 1 科目必修	社会学	2		公共哲学	2
	経済学	2			
1 科目以上 選択必修	医療社会学	2			
	比較文化論	2			
	環境と社会	2			
	世界の見方とジャーナリズム	2			

2) 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	社会科公民科指導法Ⅰ	2	選択	社会科公民科指導法Ⅲ	2
必修	社会科公民科指導法Ⅱ	2	選択	社会科公民科指導法Ⅳ	2

ウ. 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め 25 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理	2	必修	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）	2
必修	教職概論	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論	2	必修	教育相談	2
必修	教育心理学	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（２）	3
必修	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（１）	5
必修	教育課程論	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2
必修	特別活動の指導法（中等）	1			

エ. 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め５９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習	2
選択	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	多様な幼児・児童・生徒の支援演習	2
選択	発達障害教育総論	2	選択	学校ボランティア	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	介護等の体験	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2			

（３）保健体育

ア. 以下の教職免許法施行規則第６６条の６に定める科目より、必修単位を含め８単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1 科目 選択必修	英語コミュニケーション (1)	2
必修	スポーツ (1)	1		英語コミュニケーション (2)	2
必修	スポーツ (2)	1	必修	情報処理	2

イ. 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め 29 単位以上修得していること。

1) 教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	体づくり運動	1	必修	運動学	2
必修	器械体操	1	必修	生理学	2
必修	陸上	1	必修	スポーツ生理学	2
必修	水泳	1	選択	解剖学	2
必修	野球	1	必修	衛生学	2
いずれか 1 科目 必修	サッカー	1	必修	公衆衛生学	2
	バスケットボール	1	必修	学校保健概論	2
いずれか 1 科目 必修	バレーボール	1		救急処置法	2
	バドミントン	1			
必修	柔道	1			
必修	ダンス	1			
いずれか 1 科目 必修	スポーツ原理	2			
	スポーツ心理学	2			
	スポーツ経営管理論	2			
	スポーツ社会学	2			
	体育史	2			

2) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	陸上演習	2	選択	球技演習	2

3) 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	保健体育科指導法Ⅰ	2	選択	保健体育科指導法Ⅲ	2
必修	保健体育科指導法Ⅱ	2	選択	保健体育科指導法Ⅳ	2

ウ. 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め25単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理	2	必修	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）	2
必修	教職概論	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論	2	必修	教育相談	2
必修	教育心理学	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（2）	3
必修	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（1）	5
必修	教育課程論	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2
必修	特別活動の指導法（中等）	1			

エ. 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め59単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習	2
選択	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	多様な幼児・児童・生徒の支援演習	2
選択	発達障害教育総論	2	選択	学校ボランティア	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	介護等の体験	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2			

(4) 英語

ア. 以下の教職免許法施行規則第66条の6に定める科目より、必修単位を含め8単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1科目 選択必修	英語コミュニケーション (1)	2
必修	スポーツ(1)	1		英語コミュニケーション (2)	2
必修	スポーツ(2)	1	必修	情報処理	2

イ. 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め24単位以上修得していること。

1) 教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	英語学概論Ⅰ	2	選択	英語基礎 (Reading&Writing)	2
必修	英語学概論Ⅱ	2	選択	英語総合 (Reading&Writing)	2
必修	英語文学論(1)	2	選択	英語基礎 (Listening&Speaking)	2
選択	英語文学論(2)	2	選択	英語総合 (Listening&Speaking)	2
必修	英語文学講読(1)	2	必修	異文化理解	2
選択	英語文学講読(2)	2	選択	異文化間コミュニケーション	2
必修	実践英語コミュニケーションⅠ	2	選択	国際関係論	2
必修	実践英語コミュニケーションⅡ	2	選択	比較文化論	2
			選択	世界の見方とジャーナリズム	2

2) 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	英語演習(1)	2	選択	英語演習(2)	2

3) 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	英語科指導法Ⅰ	2	選択	英語科指導法Ⅲ	2
必修	英語科指導法Ⅱ	2	選択	英語科指導法Ⅳ	2

ウ. 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め25単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理	2	必修	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）	2
必修	教職概論	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論	2	必修	教育相談	2
必修	教育心理学	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（１）	5
必修	特別の支援を必要とする 幼児・児童・生徒の理解	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（２）	3
必修	教育課程論	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2
必修	特別活動の指導法（中等）	1			

エ. 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め59単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習	2
選択	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	多様な幼児・児童・生徒の支援演習	2
選択	発達障害教育総論	2	選択	学校ボランティア	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	介護等の体験	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2			

6. 特別支援学校教諭一種免許状の取得に関する必要単位について

(1) 小学校・中学校・高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有しているまたは取得見込みであること。

(2) 以下の特別支援教育に関する科目より、必修単位を含め39単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	特別支援教育論	2	必修	病弱教育指導法	2
必修	視覚障害の心理・生理・病理Ⅰ	2	選択	視覚障害教育総論	2
必修	視覚障害の心理・生理・病理Ⅱ	2	選択	聴覚障害教育総論	2
必修	聴覚障害の心理・生理・病理Ⅰ	2	選択	知的障害教育総論	2
必修	聴覚障害の心理・生理・病理Ⅱ	2	選択	肢体不自由教育総論	2
必修	知的障害の心理・生理・病理	2	選択	病弱教育総論	2
必修	肢体不自由の心理・生理・病理	2	必修	発達障害教育総論	2
必修	病弱の心理・生理・病理	2	必修	重複障害教育総論	2
必修	視覚障害教育指導法Ⅰ	2	選択 必修	発達障害教育指導法 (1)	2
必修	視覚障害教育指導法Ⅱ	2	選択 必修	発達障害教育指導法 (2)	2
必修	聴覚障害教育指導法Ⅰ	2	選択 必修	発達障害の判定とその 教育的対応Ⅰ	1
必修	聴覚障害教育指導法Ⅱ	2	選択 必修	発達障害の判定とその 教育的対応Ⅱ	1
必修	知的障害教育指導法	2	必修	教育実習(特別支援)	3
必修	肢体不自由教育指導法	2			

（教育実習の履修要件）

第5条 「教育実習」は、実施前年度の所定の時期に以下に掲げる要件を満たす者に限って履修できるものとする。

1. 基礎要件

（1）総修得単位数

学士未取得者	学士既取得者
総修得単位数が93単位以上であること	なし

（2）ガイダンス等

以下のガイダンス等に出席（内諾活動事前面接は出席のうえ内諾活動開始を可とする評価を得る）していること

ガイダンス等名	出席年度
教職課程ガイダンス	教職課程登録年度
内諾活動ガイダンス	教育実習内諾活動を行う年度
内諾活動事前面接	教育実習内諾活動を行う年度
教育実習ガイダンス	教育実習を履修する年度
介護等の体験ガイダンス	介護等の体験を行う年度（小・中のみ）

（3）教育実習実施申請

教育実習実施前年度の所定の時期に教育実習実施申請を行い、申請内容に従って教育実習実施前年度の手続きを完了している。

（4）本学で懲戒処分を受けていない者

2. 修得科目要件

(1) 幼稚園教諭一種免許状

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
領域及び保育内容の指導法に関する科目	【領域に関する専門的事項】より3科目以上 【保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より3科目以上を修得していること。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必修5科目を修得していること。 「教育原理」「教職概論」「特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解」「教育課程論」「教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（初等）」

(2) 小学校教諭一種免許状

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	【教科に関する専門的事項】より5科目以上 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より5科目以上を修得していること。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必修6科目以上を修得していること。 「教育原理」「教職概論」「特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解」「教育課程論」「道徳の理論・指導法（初等）」「教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（初等）」

(3) 中学校教諭一種免許状（社会）

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須科目8科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より「歴史概説Ⅰ」「歴史概説Ⅱ」「地理概説Ⅰ」「法学」の4科目修得必須。 「社会学」「経済学」のいずれか1科目及び「哲学・倫理学」「宗教学」のいずれか1科目 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より「社会科公民科指導法Ⅰ」「社会科公民科指導法Ⅱ」の2科目修得必須。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必修6科目を修得していること。 「教育原理」「教職概論」「特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解」「教育課程論（中等）」「道徳の理論・指導法」「教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）」

(4) 中学校教諭一種免許状（保健体育）

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の合計11科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より必修科目（いずれか1科目必修科目含む）9科目以上 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より「保健体育科指導法Ⅰ」「保健体育科指導法Ⅱ」の2科目
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必修6科目を修得していること。 「教育原理」「教職概論」「特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解」「教育課程論」「道徳の理論・指導法（中等）」「教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）」

(5) 中学校教諭一種免許状（英語）

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須9科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より 「英語学概論Ⅰ」「英語学概論Ⅱ」「英語文学論（Ⅰ）」「英語文学講読（Ⅰ）」「実践英語コミュニケーションⅠ」「実践英語コミュニケーションⅡ」「異文化理解」の7科目修得必須。 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より 「英語科指導法Ⅰ」「英語科指導法Ⅱ」の2科目修得必須。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必修6科目を修得していること。 「教育原理」「教職概論」「特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解」「教育課程論」「道徳の理論・指導法（中等）」「教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）」

(6) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須10科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より 「日本史Ⅰ」「日本史Ⅱ」「外国史Ⅰ」「外国史Ⅱ」「人文地理学」「自然地理学」「地誌Ⅰ」「地誌Ⅱ」の8科目修得必須。 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より 「地理歴史科指導法Ⅰ」「地理歴史科指導法Ⅱ」の2科目修得必須。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必須5科目を修得していること。 「教育原理」「教職概論」「特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解」「教育課程論」「教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）」

(7) 高等学校教諭一種免許状（公民）

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須6科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より「法学」「国際法」2科目必須。 「社会学」「経済学」のいずれか1科目及び「哲学・倫理学」「宗教学」のいずれか1科目 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より 「社会科公民科指導法Ⅰ」「社会科公民科指導法Ⅱ」の2科目修得必須。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必須5科目を修得していること。 「教育原理」「教職概論」「特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解」「教育課程論」「教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）」

(8) 高等学校教諭一種免許状（保健体育）

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の合計11科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より必修科目（いずれか1科目必修科目含む）9科目以上 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より 「保健体育科指導法Ⅰ」「保健体育科指導法Ⅱ」の2科目
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必須5科目を修得していること。 「教育原理」「教職概論」「特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解」「教育課程論」「教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）」

(9) 高等学校教諭一種免許状（英語）

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須9科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より 「英語学概論Ⅰ」「英語学概論Ⅱ」「英語文学論（Ⅰ）」「英語文学講読（Ⅰ）」「実践英語コミュニケーションⅠ」「実践英語コミュニケーションⅡ」「異文化理解」の7科目修得必須。 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より 「英語科指導法Ⅰ」「英語科指導法Ⅱ」の2科目修得必須。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必須5科目を修得していること。 「教育原理」「教職概論」「特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解」「教育課程論」「教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）」

(10) 特別支援学校教諭1種免許状

以下の科目を含めて、必修科目を10科目以上修得していること。 「特別支援教育論」「視覚障害の心理・生理・病理Ⅰ」「聴覚障害の心理・生理・病理Ⅰ」「視覚障害教育指導法Ⅰ」 「聴覚障害教育指導法Ⅰ」「発達障害教育総論」「重複障害教育総論」 「知的障害の心理・生理・病理」もしくは「知的障害教育指導法」のいずれか1科目 「肢体不自由の心理・生理・病理」もしくは「肢体不自由教育指導法」のいずれか1科目 「病弱の心理・生理・病理」もしくは「病弱教育指導法」のいずれか1科目

3. 英語力要件

中学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（英語）について、所定の英語力を身につけている。

4. 特別支援学校教諭一種免許状取得のための教育実習について

(1) 基礎となる教員免許状を教育実習実施年度内に取得見込み、もしくは取得済みの場合のみ履修することができる。

(2) 基礎となる教員免許の教育実習と同年度に履修する場合、その教育実習は基礎となる教員免許状の教育実習を先に行うこと。

(教職実践演習の履修要件)

第6条 「教職実践演習」を履修するためには、免許状取得に必要な単位を修得もしくは修得見込みでなければならない。

(教職課程登録申込み)

第7条 本課程を履修しようとする者は、定められた期日までに「教職課程登録申込書」を教職総合支援センターに提出しなければならない。

(費用)

第8条 前条の届出をした者は定められた期日までに「教職課程登録費」および「教育実習管理費」を納入しなければならない。一旦納入した「教職課程登録費用」および「教育実習管理費」については、返金しない。

項 目	金 額	備 考
教職課程登録費	10,000円	教職課程を履修する者
教育実習管理費 (幼・小免)	50,000円	「教育実習(初等)(1)」を履修する者で、幼稚園・小学校教諭一種免許状の取得を希望する者
教育実習管理費 (幼・小免)	50,000円	「教育実習(初等)(2)」を履修する者で、幼稚園・小学校教諭一種免許状の取得を希望する者
教育実習管理費 (中・高免)	50,000円	「教育実習(中等)Ⅰ(1)」を履修する者で、中学校・高等学校教諭一種免許状の取得を希望する者
教育実習管理費 (中・高免)	50,000円	「教育実習(中等)Ⅰ(2)」「教育実習(中等)Ⅱ」を履修する者で、中学校・高等学校教諭一種免許状取得を希望する者
教育実習管理費 (特支免)	50,000円	「教育実習(特別支援)」を履修する者で、特別支援学校免許状の取得を希望する者

(有効期間)

第9条 教職課程登録の有効期間について、教育実習を伴う登録は教職実践演習、もしくは教育実習終了の年度末までとし、登録のみの場合は3年とする。

(教育実習の内諾・配当)

第10条 実習希望先から内諾を得たあとの辞退は原則認めない。各教育委員会から実習先が配当された者が辞退した場合、その後の本学での配当申請は原則受付けない。

(教育実習の中断)

第10条の2 本学における教育実習が中断になった場合、原則として教育実習の再履修を認めない。

(単位認定)

第11条 他大学で修得した一部の教職課程の単位について、正科生のみ申請により単位認定審査を可とする。

(改廃)

第12条 この規程の改廃は、別に定める規程管理規程による。

附則

この規程は、2006（平成18）年4月1日から施行する。

改正

平成19.4.1	平成30.4.1
平成20.4.1	平成31.4.1
平成21.4.1	令和2.4.1
平成22.4.1	令和3.4.1
平成23.4.1	令和3.10.27
平成25.4.1	令和4.4.1
平成26.4.1	令和5.4.1
平成27.4.1	令和6.4.1
平成28.4.1	令和7.7.1
平成29.4.1	

資料 2-1-3 令和 6（2024）年度 教職ガイダンス 実施状況とアンケート集計結果

ガイダンスの種類・目的

ガイダンス名	対象	目的
教職課程ガイダンス	本学で教職課程の履修を開始する学生	・星槎大学の「教員養成の理念」を理解し、教職に就くことの責任を自覚する。 ・教職課程における履修から教員免許申請までの流れについて、その概要を理解する。 ・在学中の学修計画を立て、学修上の努力と自己研鑽を積む心構えを身につける。
内諾活動ガイダンス	次年度に教育実習の実施を希望する学生	・教育実習の意義と実習依頼時の心構え、マナーを確認する。 ・教育実習実施に関する申請、履修要件、内諾を得るまでの流れ等を理解する。
内諾活動事前面接	次年度に教育実習の実施を希望する学生	・教育実習実施の適性等を確認する。
教育実習ガイダンス	教育実習実施年度の学生	・教育実習の目的を考え確認する。 ・教育実習の心構えを理解する。 ・教育実習中の諸注意を考え確認する。

1. 4 月実施

(1) 実施日時 2024 年 4 月 14 日（日）13：30～17：30

(2) 実施形態 Web ライブ（Zoom）（一部一定期間中のオンデマンドあり）

(3) 参加学生数

教職課程ガイダンス	内諾活動ガイダンス	内諾活動事前面接	教育実習ガイダンス
207 人	164 人	164 人	384 人

(4) 実施内容

時程	項目	概要
13:30～13:35	教職課程ガイダンス開始アナウンス	・教職課程ガイダンスの流れについて
13:35～13:45	教職総合支援センター長より挨拶・教職について	・教職を目指すことについて ・本学の「教員養成の理念」について

13:45～14:15	グループディスカッション	・グループディスカッション テーマ「私の目指す教師像とその理由」
14:15～14:30	発表	・グループごと発表
14:30～14:35	まとめ	・まとめ、振り返り
14:35～14:40	アンケート案内	・アンケートの案内
14:40～15:00	休憩	
15:00～15:15	内諾活動事前面接の準備・ Zoom 入室	・面接の流れ、評価の確認 ・面接学生の Zoom 入室管理
15:30～17:30	内諾活動事前面接	・面接を順次開始
17:30	終了	

(5) 事後アンケート回答者数 (回答率)

教職課程ガイダンス	内諾活動ガイダンス	内諾活動事前面接	教育実習ガイダンス
181 人 (87.4%)	159 人 (96.9%)	アンケート実施なし	90 人 (23.4%)

2. 5 月実施

(1) 実施日時 2024 年 5 月 11 日 (土) 13:30～17:30

(2) 実施形態 Web ライブ (Zoom) (一部一定期間中のオンデマンドあり)

(3) 参加学生数

教職課程ガイダンス	内諾活動ガイダンス	内諾活動事前面接
219 人	203 人	203 人

(4) 実施内容

4 月実施と同じ

(5) 事後アンケート回答者数 (回答率)

教職課程ガイダンス	内諾活動ガイダンス	内諾活動事前面接
179 人 (81.7%)	194 人 (95.6%)	アンケート実施なし

3. 10月実施

(1) 実施日時 2024年10月19日(土) 13:30~14:40

(2) 実施形態 Webライブ(Zoom)(一部一定期間中のオンデマンドあり)

(3) 参加学生数

教職課程ガイダンス
102人

(4) 実施内容

時程	項目	概要
13:30~13:35	教職課程ガイダンス開始アナウンス	・教職課程ガイダンスの流れについて
13:35~13:40	教職総合支援センター長より挨拶・教職について	・教職を目指すことについて ・本学の「教員養成の理念」について
13:40~14:10	グループディスカッション	・グループディスカッション テーマ「私の目指す教師像とその理由」
14:10~14:30	発表	・グループごと発表
14:30~14:35	まとめ	・まとめ、振り返り
14:35~14:40	アンケート案内	・アンケートの案内
14:10	終了	

(5) 事後アンケート回答者数(回答率)

教職課程ガイダンス
89人(87.3%)

4. 事後アンケート回答結果(1年分をガイダンスごとに集計)

(1) 教職課程ガイダンス

一年間の参加学生数合計	一年間のアンケート回答者数合計(回答率)
528人	449人(85%)

質問1 「教職課程ガイダンス(事務的事項)」(オンデマンド方式)はどうでしたか?

選択肢	回答
良かった	305人(68.1%)
やや良かった	111人(24.8%)

どちらでもない	30 人 (6.7%)
やや悪かった	1 人 (0.2%)
悪かった	1 人 (0.2%)
合計	448 人 (100%)

質問2 質問「1」でそう思った理由をお聞かせください。

選択肢	回答
良かった	・ 分かりやすかった、理解できた、見通し が持てた、スケジュールが分かった。 (171 名) ・ オンデマンドの受講しやすさ、社会人等 で仕事があっても受講しやすい。 (46 名) ・ ディスカッションがよかった、他の参加 者との交流がよかった。(42 名) ・ 教師になる心構え、実習の心構え、大学 の理念等がよくわかった。(21 名) ・ 進行がスムーズだった。(2 名)
やや良かった	・ 分かりやすかった。(69 名) ・ オンデマンドなどの受講しやすさ。 (10 名) ・ Web ライブ開催の方のグループディス カッションの交流。(8 名) ・ 教職を目指す心構え、大学の思想など。 (5 名) ・ もっと簡潔に、聴き取りづらい部分あ り、分かりやすかったがピンとこなかつ た。(3 名)
どちらでもない	・ 情報を得られた、オンデマンドがよかつ た。(7 名) ・ 知っている内容、教員免許を初めて取得 する人向けで自分には関係なかった。(5 名) ・ 質問しづらい、難しい、もう少し詳しく 知りたい、自動字幕がわかりづらい。 (4 名)

	・テンポが速い、聞き逃したかもしれない不安。(2名)
やや悪かった	・教育実習までの流れが難しかった。(1名)
悪かった	・オンデマンド事前録画のため発表者の話し方を改善してほしい要望。(1名)

質問3 4月14(日)にリアルタイムで受講された「教職課程ガイダンス(教育的事項)」(Webライブ方式)はどうでしたか?

選択肢	回答
良かった	366人(81.5%)
やや良かった	69人(15.4%)
どちらでもない	12人(2.7%)
やや悪かった	2人(0.4%)
悪かった	0人(0%)
合計	449人(100%)

質問4 質問「3」でそう思った理由をお聞かせください。

選択肢	回答
良かった	・グループディスカッションがよかった、通信制で孤独な学修だと思っていたが交流できてよかった、様々な立場や生き方の参加者と意見交換できた。(344名) ・Zoom、Webライブで自宅受講できることのメリット。(8名) ・今後の流れ等がわかった。(2名) ・グループディスカッションの司会の役割をスムーズにできた。(1名)
やや良かった	・グループディスカッションでの交流がよかった。(57名) ・教職課程のしくみ、学修、大事なポイントがわかった。(3名) ・グループディスカッションで積極的ではない人もいた。(1名) ・改めて実習に向けて気合いが入った。(1名)

	・発表で急にあたった。(1名)
どちらでもない	・ディスカッションへの意見（ディスカッションの必要性が不明、交流はスクーリングでもできる。）(2名) ・日程が指定されていることへの意見（自分のタイミングで受講できない。）(1名) ・現職教員としては知っている内容だった。(1名) ・参加人数が多い(1名)
やや悪かった	・有意義な話し合いができなかったため。(1名) ・予定していた時間に終了出来なかったため。(1名)

(2) 内諾活動ガイダンス

一年間の参加学生数合計	一年間のアンケート回答者数合計（回答率）
367 人	354 人（96.5%）

質問1 「内諾活動ガイダンス」の動画はどうでしたか？

選択肢	回答
良かった	235 人（66.5%）
やや良かった	89 人（25.1%）
どちらでもない	27 人（7.6%）
やや悪かった	3 人（0.8%）
悪かった	0 人（0%）
合計	354 人（100%）

質問2 質問「1」でそう思った理由をお聞かせください。

選択肢	回答
良かった	・内容が分かりやすかった、時系列であったことやスライドが分かりやすかった、説明が丁寧だった。(189名) ・実習への心構えができた。(24名)
やや良かった	・分かりやすかった。(80名)

	・資料はよいが聴き取りづらい部分あり。(6名) ・自宅で受講できてよかった。(1名)
どちらでもない	・要点をまとめてほしい、書類についての説明があるとよい。(3名) ・実習校や実習に対する姿勢は当たり前の内容だった。(3名) ・字幕があるとよい。(1名) ・もう少しゆっくり説明してほしい。(1名)
やや悪かった	・もう少し分かりやすくしてほしい。(3名)

(3) 教育実習ガイダンス

一年間の参加学生数合計	一年間のアンケート回答者数合計 (回答率)
384 人	90 人 (23.4%)

質問1 「教育実習ガイダンス」の動画はどうでしたか？

選択肢	回答
良かった	58 人 (64.4%)
やや良かった	26 人 (28.9%)
どちらでもない	5 人 (5.6%)
やや悪かった	1 人 (1.1%)
悪かった	0 人 (0%)
合計	90 人 (100%)

質問2 質問「1」でそう思った理由をお聞かせください。

選択肢	回答
良かった	・教育実習に関する心構え、手続き等が理解できた、簡潔で分かりやすかった。(52名)
やや良かった	・教育実習に関する心構え、手続き等が理解できた。(20名)
どちらでもない	・『教育実習のしおり』のページ順の説明

	ではなく、ページがあちこちに飛んで説明されていた。(2名) ・忙しい時期に以前と同じような動画を今回も見なければならなかった。(1名) ・いつまでに視聴すればよいか分からなかった。(1名) ・タイムラインがあるとよい。(1名)
やや悪かった	・注意すべき事項が多い、『教育実習のしおり』に書かれていないことの説明もあった、ナレーターの話し方の改善要望、いつまでに何をしなければならないのか不安あり。(1名)

資料 2-1-4 教職課程履修カルテ・履修カルテ（自己評価）

事前提出課題①「教職課程履修カルテ」

小学校免許状

1種・2種の別	
---------	--

※1種か2種か記入してください。

学籍番号

氏名

専攻

※専攻は科目等履修生は記入不要

提出期限：教職実践演習スクーリング受講2週間前まで

提出方法：Webフォーム（学生ポータルサイト→教職課程登録者用ページ→教職実践演習）※メール・郵送での提出不可

※〔 〕内の科目名は19・20カリキュラムの科目名です。

区分	科目名	総単位	修得年度	担当教員	評価	自己評価	今後の課題
教科に関する専門的事項	教科（国語）						
	教科（社会）						
	教科（算数）						
	教科（理科）						
	教科（生活）						
	教科（音楽）						
	教科（図画工作）						
	教科（家庭）						
	教科（体育）						
	教科（外国語）						

区分	科目名	総単位	修得年度	担当教員	評価	自己評価	今後の課題
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	初等教科教育法（国語）						
	初等教科教育法（社会）						
	初等教科教育法（算数）						
	初等教科教育法（理科）						
	初等教科教育法（生活）						
	初等教科教育法（音楽）						
	初等教科教育法（図画工作）						
	初等教科教育法（家庭）						
	初等教科教育法（体育）						
	初等教科教育法（外国語）						
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理〔教育原理（初等）〕						
	教職概論〔教職概論（初等）〕						
	教育経営・学校安全論〔教育経営・学校安全論（初等）〕						

区分	科目名	総単位	修得年度	担当教員	評価	自己評価	今後の課題
教育の基礎的理解に関する科目	教育心理学〔教育心理学(初等)〕						
	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解〔特別の支援を必要とする幼児・児童の理解〕						
	教育課程論〔教育課程論(初等)〕						
教道育徳、総合的に関連する学習科目の時間等の指導法及び生徒指導、	道徳の理論・指導法(初等)						
	総合的な学習の時間の指導法(初等)						
	特別活動の指導法(初等)						
	教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む)(初等)						
	生徒・進路指導論(初等)						
	教育相談〔教育相談(初等)〕						
科に教育実習する課	教育実習(初等)(1)または教育実習(初等)(2)						

介護等体験について(代替措置科目履修の場合は「科目名(代替措置)」と記入)

学校ボランティアについて(実施した場合のみ記入)

【留意点】

- ・このカルテは「教職実践演習」の提出課題となるほか、今までの学修状況の振り返りとなります。
- ・3月または9月の単位認定ごとに記入してください。
- 「教職実践演習」受講年度の単位認定前の科目については記入時点での振り返りを記入して空欄が無いようにしてください。
- ・「修得年度」の欄は4月～翌年3月の学校暦としての年度を記入してください。
- ・他大学で修得された科目については、他大学の様式の「教職課程履修カルテ」をご提出ください。準備ができない場合は教職実践演習履修年度の年度はじめに教職総合支援センターまでご相談ください。

事前提出課題②「自己評価表」 ※全校種・教科共通です。

学籍番号()氏名()専攻() ※専攻は科目等履修生は記入不要

<活用方法>

①「5段階自己評価」欄は、「事前指導後」「教育実習後」それぞれの時期において、各指標について自分の現在の状態を5段階(5－そうである 4－ややそうである 3－どちらでもない 2－やや不足している 1－不足している)で評価する。

②「自己の課題」欄は各指標について教育実習を通して自分自身が感じた課題について具体的に記入する。

項目	指標	5段階自己評価		自己の課題（教育実習後に自己の課題を記載する）
		事前指導後	教育実習後	
教育に対する情熱・使命感	教育に対する情熱・使命感を高めるための努力をしている			
教育の重要性の認識	教育の重要性と社会的意義・責任を深く認識している。			
教科教育に関する専門的知識	取得する免許に関する専門的知識を十分に有している。			
授業実践に関する力量	授業あるいは模擬授業、プレゼンテーションなどを通じて授業実践に関する力量を高めようとしている。			
子どもとともに歩む姿勢	子どもを一人の人間として尊敬し、共に成長する存在となることを目指している。			
子どもとのかかわりの経験	学校ボランティア等を通じて、積極的に子どもと触れ合う機会を持つようとしている。			
幅広い教養	一般常識を踏まえ、社会人として必要となる教養を身につけている。			
社会性と協調性を兼ね備えた人間性	他者と積極的に交流し、共同して作業を行うことができる。			

資料 2-2-1 令和 6（2024）年度 教員採用試験対策講座 実施状況とアンケート集計結果

1. 春期 教員採用試験対策講座

（1）申込期間 2024 年 4 月 1 日（月）～4 月 15 日（月）

（2）実施日時 2024 年 4 月 21 日（日）10：00～17：00

（3）実施方法 Zoom

（4）実施内容

時程	項目	概要
10：00～10：15	スケジュール説明	・本日のスケジュール説明 ・教員自己紹介
10：15～10：20	教職総合支援センター長挨拶	・挨拶
10：20～11：00	教員採用試験について	・教員採用試験の最新情報
11：00～11：20	新「生徒指導提要」について	・新「生徒指導提要」の説明
11：20～11：30	休憩	
11：30～11：45	教育の情報化について	・文部科学省の情報化政策を中心 に説明
11：45～12：00	論作文について	・論作文を書く上での注意点と ポイント
12：00～12：15	個人面接について	・個人面接のポイント
12：15～12：30	模擬授業について	・模擬授業のポイント
12：30～13：30	お昼休憩	
13：30～14：05	場面指導についての実習（グル ープ実習）	・初等、中等、特別支援学校の 学校種に分かれてグループ ごとに実習
14：05～14：20	場面指導についてのまとめ	・場面指導のポイント
14：20～14：30	休憩	
14：30～15：00	教員採用試験合格者の体験談	・初等、中等（英語）、中等（保 健体育）、中等（社会）、特別 支援学校へ合格し現職教員 として勤務中の卒業生の体 験談
15：00～15：30	教員採用試験合格者へ質疑応答 （グループ実習）	・教員採用試験合格者を囲んで グループごとに実習
15：30～15：40	休憩	
15：40～16：50	模擬授業・個人面接・集団面接・ その他相談対応（グループ実習）	・事前に対策希望を挙げた対策 内容での実習

16：50～17：00	本日のまとめ・閉会	・まとめ
-------------	-----------	------

- (5) 受講者数 24 名
(6) アンケート実施期間 当日終了直後に配信
(7) アンケート回答者数 16 名 (回答率 66.7%)
(8) アンケート結果 (匿名回答)

質問 1. 全体の感想を下記より 1 つお選びください

選択肢	回答
良かった	12 人 (75%)
やや良かった	3 人 (18.8%)
どちらでもない	0 (0%)
やや悪かった	0 (0%)
悪かった	1 人 (6.2%)
合計	16 人 (100%)

質問 2. 1 でそう思った理由をお書きください

(回答内容別に記載)

回答内容
(1 で「良かった」の回答) ・先生や先輩から色々な話を聞いた。合格者との話について、とても参考になった。 ・自分がしなくてはいけないことが明確になった。 ・知らない情報や今後の対策のために非常に役立ちました。知らなかったことが知ることができた。 ・最新の情報が得られたり、面接のアドバイスがいただれたり、何よりも先生方の熱意が伝わってきた。最新情報をきけたことと、教員採用試験への気持ちを立て直せたことです。 ・テスト対策や面接の乗り切り方まで聞くことができたため良かった。
(1 で「やや良かった」の回答) ・実技メインだったので、筆記試験対策が聞きたかった。 ・内容は濃かったが、各内容の時間配分が短く感じられたため。
(1 で「悪かった」の回答) ・実施時期等が不適切 (早期開催日程の県受験のため、教員採用試験対策講座の実施時期ですすでに願書受付が開始している。内容について一番聞きたい部分の時間が短かった。)

質問 3. 特に印象に残った講座内容があればお書きください

回答内容	回答
生徒指導提要、場面指導、論作文などのグループワーク含む	11 人 (78.6%)
合格者の体験談	2 人 (14.3%)
最新情報	1 人 (7.1%)
合計	14 人 (100%)

質問 4. 採用試験合格者体験談についての感想をお書きください

(回答内容を個別に記載)

回答内容
・どのような対策をしていたのか参考になりました。 ・どんな勉強方法をしたかやどんなことを考えながら勉強をしたかを知ることができて、とても良かったです。 ・合格者の指導案の対策や、面接などの具体的内容を聞くことができ、とても参考になった。 ・リアルな話をきけて、これから活かすことができそう ・置かれている環境が違うので、結局は現状を考慮した上で、自分なりの対策を進めていかなければならないのですが、良い刺激を受けることができました。 ・仕事をしながらどのように時間を使い、対策をされていたのかを知ることが出来、とても参考になった。また合格者の方の話し方や受け答え方などについてもとても参考になった。 ・身近な先輩に、どう言う事に気をつけて臨んだかを聴ける貴重な体験だったので、参考になった。 ・試験勉強や試験内容などを細かく教えてくださったので、今ある漠然とした試験への悩みの解消や勉強する活力になりました。
・同年代の先生の合格体験を伺って、自分も頑張りたいと思いました。 ・同じ自治体を受験して合格された方の話を聞いて良かったです。 ・色々な方の体験談が聞けた。年齢は関係ないという言葉が印象的でした。
・質問することができて良かった。

2. 夏期 オンデマンド講座

(1) 申込期間 2024 年 6 月 26 日 (水) ～ 12 月 11 日 (水)

(2) 実施期間 2024 年 7 月 1 日 (月) ～2025 年 1 月 31 日 (金)

(3) 実施方法 オンデマンド

(4) 実施内容

項目	概要
教員採用試験の最新事情	・教員採用試験の最新情報 ・新「生徒指導提要」について
教育の情報化について	・文部科学省の情報化政策を中心に
論作文について	・論作文を書く上での注意点とポイント
個人面接について	・個人面接のポイントを指導
模擬授業について	・模擬授業のポイントを指導
場面指導について	・場面指導のポイントを指導
教員採用試験合格者の体験談	・教員採用試験に合格し教職に就いている卒業生の、採用試験対策と教職のやりがいについて

(5) 受講者数 22 名

(6) アンケート実施期間 2024 年 7 月 1 日 (月) ～2025 年 1 月 31 日 (金)

(7) アンケート回答者数 4 名 (回答率 18.2%)

(8) アンケート結果 (匿名回答)

質問 1. 全体の感想を下記より 1 つお選びください

選択肢	回答
良かった	1 人 (25%)
やや良かった	3 人 (75%)
どちらでもない	0 人 (0%)
やや悪かった	0 人 (0%)
悪かった	0 人 (0%)
合計	4 人 (100%)

質問 2. 1 でそう思った理由をお書きください

(回答数が少ないため、回答内容を個別に記載)

回答内容
注意点、考慮点が明確であったことについて良い。
教員採用試験前の心得や事前準備が分かり良かったと思います。
動画と資料を見比べて、何度も繰り返し自分のペースで確認できたので。
体験談を聞いたのが良かったから。

質問 3. 特に印象に残った講座内容があればお書きください

(回答数が少ないため、回答内容を個別に記載)

回答内容
場面設定、模擬授業、面接
生徒指導提要について学んでおくべき点が多々あることを知ることが出来ました。
生徒指導提要についての講座がポイントがつかみやすかったです。
小学校の教員採用試験に合格した方の話

質問 4. 採用試験合格者体験談についての感想をお書きください

(回答数が少ないため、回答内容を個別に記載)

回答内容
創意工夫されているので役立つ。
どのような生活スタイルで採用試験前の対策なども詳しく話してくださっていたのでとても参考になりました。
小学校だけ PDF で資料を確認できました。動画はなかったですが、よりわかりやすかったです。
具体的にどのように対策したらいいのか、準備の期間や動きなどが分かってよかったです。

3. 夏期 個別対策講座

(1) 申込期間 希望する個別対策講座実施の 5 日前まで

(2) 実施期間 2024 年 7 月 1 日 (月) ~ 8 月 31 日 (土)

(3) 実施方法 希望する対策内容により Zoom もしくは対面実施

(4) 受講者数 6 名

(5) 個別対策講座実施内容 (2 次試験対策・申し込み順)

No.	受験先	受験する学校種・教科	実施方法	実施内容
1	神奈川県	特別支援学校	Zoom	模擬授業 面接
2	新潟県	小学校	Zoom	面接
3	岩手県	特別支援学校	Zoom	面接
4	長崎県	小学校	Zoom	面接
5	神奈川県	特別支援学校	Zoom	模擬授業
6	埼玉県	小学校	Zoom	面接 場面指導 論述

(6) 個別対策講座の受講者の感想

(回答数が少ないため、回答内容を個別に記載)

回答内容
まだ教育実習も終わっていなかったのでまさか 1 次を通過すると思わず指導計画書の作り方もわからない中で模擬授業を準備する必要があったため、細かくいろいろなことを教えていただきとても助かりました。当日の模擬試験は及第点以上をいただきました。
先生の説明が分かりやすく、励ましの言葉をたくさんいただいた。
丁寧に諮問・解説をしていただいた。

資料 2-2-2 星槎大学学生ポータルサイト「就職情報の提供」
学生ポータルサイト画面例

星槎大学 学生専用サイト

ログイン

ログイン

学籍番号

氏名

履修状況・成績照会

ログアウト

ログイン方法・パスワード変更
方法

固定記事

ログイン方法またはパスワード変更方法はこ
のページでご確認ください。

固定記事

教職課程登録者用ページ

福祉専攻学生用ページ

求人情報（教職・資格関係）／イベント

ブログ

新規登録

採用試験対策／千葉「教採学習会」

記事内容省略

イベント情報／「横浜教育イノベーション・アカデミア」

記事内容省略

教採関連／かわさき教師塾（神奈川県）

記事内容省略

採用試験関連／東京都公立学校採用スペシャルイベントのご案内

記事内容省略

採用試験／京都市 京都教師塾オンライン特別講座のご案内

記事内容省略